

R4訪問介護事業者調査

○ R1から継続
× 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
☆ 新規

● 指標
○ 現状分析
◎ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	経営形態	事業所の経営形態について教えてください		株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他(具体的に)		○	
問1-2		所在地	事業所の所在地について教えてください		中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービス提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	一部	併設事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください		ある ない		○	
問1-5	一部	併設事業所の提供サービス	併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください ※「27.」～「29.」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援(介護予防ケアマネジメント) 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護療養型医療施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス(訪問介護相当型)※ 通所型サービス(通所介護相当型)※ 通所型サービス(時間短縮型)※	(調査票のあて先となる事業者のサービスを、選択肢から除く)	○	
問1-6	一部	併設高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します		ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	直近1か月の提供状況		記述	※表形式		○	
問2-1-1	単独	総提供回数	令和4年●月の1か月あたりの訪問介護サービスの総提供回数は何回ですか		訪問介護(身体介護(回) 生活援助(回) 通院等乗降介助(回)) 訪問型サービス(総合事業)(回)		○	
問2-1-2	単独	総提供時間	令和4年●月の1か月あたりの訪問介護サービスの総提供時間(移動時間は除く)は何時間ですか		訪問介護(身体介護(時間) 生活援助(時間) 通院等乗降介助(時間)) 訪問型サービス(総合事業)(時間)		○	
問2-2	一部	常勤職員の提供時間	令和4年●月の1か月における、常勤職員の訪問介護サービスの提供時間(移動時間は除く)は、利用者1人あたり1日の平均・最大でそれぞれ何時間ですか	記述	1人あたり1日平均提供時間(時間) 1人あたり1日最大提供時間(時間)		○	
問2-3	一部	利用者からの要望が多い保険外サービス	介護サービスの対象外ではあるが、利用者からの要望が多いことは何ですか	複数	玄関前の除雪 簡単な大工仕事 庭の手入れ 年末年始の大掃除 家の中や敷地内のごみの整理や片付け 仏花の購入や仏壇の手入れ 映画鑑賞やお墓参りなどの付き添い 院内介助・通院介助 窓拭き 利用者の家族など利用者以外の方への生活援助 その他(具体的に) 特にない		○	
3 事業所の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない		○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述	(記載例) 冬期間は雪による渋滞、除雪等により時間がかかる人件費を、事業者負担でヘルパーに支給している実態がある		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】その理由は何ですか。具体的にお書きください	記述			○	
問3-2	一部	総合事業の問題点	介護予防サービスまたは介護予防・日常生活支援総合事業サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をするうえで不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量(需要)を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他(具体的に) 特に問題はない 介護予防・日常生活支援総合事業サービスの指定を受けていない		○	
問3-3		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他(具体的に) 特に何も行ってない		○	
問3-4-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他(具体的に)		○	
問3-4-2		解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-5-1		災害への備え	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他(具体的に)		○	
問3-5-2		災害時の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中 今後話し合う予定 その他(具体的に) 特に考えていない		☆	
		災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている 状況が整えば受入ができる 受入はできない	部会意見により対象整理(削除)	×	
問3-5-3		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)		○	
問3-5-4	一部	災害で困ったこと	災害(主に北海道胆振東部地震)発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡 利用者(またはその家族)との連絡 地域住民との協力 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)		○	

R4訪問介護事業者調査

○ R1から継続
 × 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
 ☆ 新規

● 指標
 ○ 現状分析
 ☆ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問3-6-1		感染症への備え	感染症発生時の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画 (BCP) の策定 衛生用品や個人用防護具 (PPE) の確保 検査キットの確保 その他 (具体的に)	部会意見により対象整理 (⑮～⑲と分離)、選択肢追加	☆	
問3-6-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画 (BCP) の策定 衛生用品や個人用防護具 (PPE) の確保 検査キットの確保 職員の確保 その他 (具体的に)	部会意見により対象整理 (⑮～⑲と分離)、設問修正、回答形式変更、選択肢追加	☆	
問3-6-3	全部	感染症対策が難しいと感じる理由	感染症発生時における対策が難しいと感じる理由は何ですか	複数	ノウハウがない 人材が足りない 資金がない その他 (具体的に)	部会意見により新規追加	☆	
問3-6-4		感染症で困っていること	感染症 (主に新型コロナウイルス感染症) 発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具 (PPE) の不足 検査キットの不足 職員の不足 利用者の減少 利用者家族とのコミュニケーション 対応方法がわからない その他 (具体的に)	部会意見により選択肢追加	☆	
4 職員への対応について								
		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか		※表形式		×	
	一部	採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない		×	◎
	一部		非常勤職員				×	○
	一部	定着状況	常勤職員		良い 比較的良い あまり良くない 良くない		×	○
	一部		非常勤職員				×	○
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・離職の人数、定着状況をそれぞれ教えてください		※表形式	部会意見により既存設問を継続 (新規項目と統合)	☆	
問4-1-1-ア-A	一部	採用状況、採用・離職人数	常勤職員		計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない	部会意見により既存設問を継続 (新規項目と統合)	☆	◎
問4-1-1-ア-B	一部		非常勤職員		採用人数 () 人 離職人数 () 人	部会意見により既存設問を継続 (新規項目と統合)	☆	○
問4-1-1-イ-A	一部	定着状況	常勤職員		良い 比較的良い あまり良くない 良くない	部会意見により既存設問を継続	○	○
問4-1-1-イ-B	一部		非常勤職員				○	○
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか (3つ以内)	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他 (具体的に)		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください	記述	職員数 (常勤換算) () 名		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。 ※「2.」の場合は () 内に人数及びその理由		現状の職員数で十分である さらに職員が必要 () 名 必要⇒理由 ()		○	
問4-2		過去1年間の離職理由	過去1年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか (3つ以内)	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他 (具体的に) 過去1年以内の離職はなかった		○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等 (定期健康診断以外) を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他 (具体的に) 特にない	部会意見により選択肢追加	○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他 (具体的に)		☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与が得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他 (具体的に) 何も行っていない	部会意見により選択肢追加	○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他 (具体的に)		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他 (具体的に)	部会意見により選択肢追加	○	○
5 自由記載								
問5		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

R4訪問入浴介護事業者調査

○ R1から継続
× 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
☆ 新規

● 指標
○ 現状分析
◎ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	経営形態	事業所の経営形態について教えてください		株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他(具体的に)		○	
問1-2		所在地	事業所の所在地について教えてください		中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービス提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	一部	併設事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください		ある ない		○	
問1-5	一部	併設事業所の提供サービス	【問1-4で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください ※「27.」～「29.」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援(介護予防ケアマネジメント) 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護療養型医療施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス(訪問介護相当型)※ 通所型サービス(通所介護相当型)※ 通所型サービス(時間短縮型)※	(調査票のあて先となる事業者のサービスを、選択肢から除く)	○	
問1-6	一部	併設高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します		ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2	一部	直近1か月の提供状況		記述	※表形式		○	
問2-1	単独	総提供回数	令和4年●月の1か月あたりの訪問入浴介護サービスの総提供回数は何回ですか		(回)		○	
問2-2	一部	最大提供回数	(職員体制や設備の面から、)1か月あたりに訪問入浴介護サービス(介護予防サービスを含む)を提供可能な回数は最大で何回ですか		(回)		○	
3 事業所の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない		○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述	(記載例)エレベーターのないアパートに住んでいる方も多く、移動に時間がかかる		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください	記述			○	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量(需要)を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者説明できない その他(具体的に) 特に問題はない		○	
問3-3		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他(具体的に) 特に何も行っていない		○	
問3-4-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他(具体的に)		○	
問3-4-2		解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-5-1		災害への備え	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他(具体的に)		○	
問3-5-2		災害時の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中 今後話し合う予定 その他(具体的に) 特に考えていない		☆	
		災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている 状況が整えば受入ができる 受入はできない	部会意見により対象整理(削除)	×	
問3-5-3		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)		○	
問3-5-4	一部	災害で困ったこと	災害(主に北海道胆振東部地震)発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡 利用者(またはその家族)との連絡 地域住民との協力 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)		○	

R4訪問入浴介護事業者調査

○ R1から継続
 × 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
 ☆ 新規

● 指標
 ○ 現状分析
 ◎ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問3-6-1		感染症への備え	感染症発生時の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画 (BCP) の策定 衛生用品や個人用防護具 (PPE) の確保 検査キットの確保 その他 (具体的に)	部会意見により対象整理 (⑮～⑲と分離)、選択肢追加	☆	
問3-6-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画 (BCP) の策定 衛生用品や個人用防護具 (PPE) の確保 検査キットの確保 職員の確保 その他 (具体的に)	部会意見により対象整理 (⑮～⑲と分離)、設問修正、回答形式変更、選択肢追加	☆	
問3-6-3	全部	感染症対策が難しいと感じる理由	感染症発生時における対策が難しいと感じる理由は何ですか	複数	ノウハウがない 人材が足りない 資金がない その他 (具体的に)	部会意見により新規追加	☆	
問3-6-4		感染症で困っていること	感染症 (主に新型コロナウイルス感染症) 発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具 (PPE) の不足 検査キットの不足 職員の不足 利用者の減少 利用者家族とのコミュニケーション 対応方法がわからない その他 (具体的に)	部会意見により選択肢追加	☆	
4 職員への対応について								
		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか		※表形式		×	
	一部	採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない		×	◎
	一部		非常勤職員				×	○
	一部	定着状況	常勤職員		良い 比較的良い あまり良くない 良くない		×	○
	一部		非常勤職員				×	○
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・離職の人数、定着状況をそれぞれ教えてください		※表形式	部会意見により既存設問を継続 (新規項目と統合)	☆	
問4-1-1-ア-A	一部	採用状況、採用・離職人数	常勤職員		計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない	部会意見により既存設問を継続 (新規項目と統合)	☆	◎
問4-1-1-ア-B	一部		非常勤職員		採用人数 () 人 離職人数 () 人	部会意見により既存設問を継続 (新規項目と統合)	☆	○
問4-1-1-イ-A	一部	定着状況	常勤職員		良い 比較的良い あまり良くない 良くない	部会意見により既存設問を継続	○	○
問4-1-1-イ-B	一部		非常勤職員				○	○
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか (3つ以内)	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他 (具体的に)		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください	記述	職員数 (常勤換算) () 名		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。 ※「2.」の場合は () 内に人数及びその理由		現状の職員数で十分である さらに職員が必要 () 名 必要⇒理由 ()		○	
問4-2		過去1年間の離職理由	過去1年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか (3つ以内)	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他 (具体的に) 過去1年以内の離職はなかった		○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等 (定期健康診断以外) を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他 (具体的に) 特にない	部会意見により選択肢追加	○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他 (具体的に)		☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与が得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他 (具体的に) 何も行っていない	部会意見により選択肢追加	○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他 (具体的に)		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他 (具体的に)	部会意見により選択肢追加	○	○
5 自由記載								
問5		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

R4訪問看護事業者調査

○ R1から継続
× 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
☆ 新規

● 指標
○ 現状分析
◎ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	経営形態	事業所の経営形態について教えてください		株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他(具体的に)		○	
問1-2		所在地	事業所の所在地について教えてください		中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービス提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	一部	併設事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください		ある ない		○	
問1-5	一部	併設事業所の提供サービス	【問1-4で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください ※「27.」～「29.」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援(介護予防ケアマネジメント) 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護療養型医療施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス(訪問介護相当型)※ 通所型サービス(通所介護相当型)※ 通所型サービス(時間短縮型)※	(調査票のあて先となる事業者のサービスを、選択肢から除く)	○	
問1-6	一部	併設高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します		ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	直近1か月の提供状況		記述	※表形式		○	
問2-1-1	一部	総提供回数	令和4年●月の1か月あたりの訪問看護サービスの総提供回数は何回ですか		医療保険適用(回) 介護保険適用(回) 合計(回)		○	
問2-1-2	単独	総提供時間	令和4年●月の1か月あたりの訪問看護サービスの総提供時間(移動時間は除く)は何時間ですか		医療保険適用(時間) 介護保険適用(時間) 合計(時間)		○	
問2-2	一部	利用者からの要望が多い保険外サービス	介護サービスの対象外ではあるが、利用者からの要望が多いことは何ですか	複数	死後の処理 同居家族の看護 通院の同行 外泊時のケア その他(具体的に) 特になし		○	
問2-3	一部	看取り経験	余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア(看取り)に取り組んだ経験がありますか		ある ない		○	
問2-4	一部	看取りの方針	ターミナルケア(看取り)についてどのように考えていますか		現時点では、事業所としての方針を明確にしていない 利用者の看取りまでは想定していない 制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい 現状でも、条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している		○	
問2-5	一部	看取るための条件	【問2-4で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】 ターミナルケア(看取り)を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか	複数	ほかの入居者・利用者(家族)の理解 訪問診療に応じてくれる医師との関わり ほかの介護サービス(訪問看護を除く)の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関 その他(具体的に)		○	○
3 事業所の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない		○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由は何か。以下の記載例を参考に、具体的な理由や状況をお書きください	記述	(記載例) 30分未満470単位であるが、実際のケアに要する時間のほか、連携や書類作成にも時間がかかっている		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由は何か。具体的にお書きください	記述			○	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量(需要)を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者へ説明できない その他(具体的に) 特に問題はない		○	
問3-3		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他(具体的に) 特に何も行ってない		○	
問3-4-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他(具体的に)		○	
問3-4-2		解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-5-1		災害への備え	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他(具体的に)		○	
問3-5-2		災害時の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中 今後話し合う予定 その他(具体的に) 特に考えていない		☆	
		災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている 状況が整えば受入ができる 受入はできない	部会意見により対象整理(削除)	×	

R4訪問看護事業者調査

○ R1から継続
× 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
☆ 新規

● 指標
○ 現状分析
◎ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問3-5-3		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)		○	
問3-5-4	一部	災害で困ったこと	災害(主に北海道胆振東部地震)発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡 利用者(またはその家族)との連絡 地域住民との協力 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)		○	
問3-6-1		感染症への備え	感染症発生時の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 衛生用品や個人用防護具(PPE)の確保 検査キットの確保 その他(具体的に)	部会意見により対象整理(⑮～⑳と分離)、選択肢追加	☆	
問3-6-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 衛生用品や個人用防護具(PPE)の確保 検査キットの確保 職員の確保 その他(具体的に)	部会意見により対象整理(⑮～⑳と分離)、設問修正、回答形式変更、選択肢追加	☆	
問3-6-3	全部	感染症対策が難しいと感じる理由	感染症発生時における対策が難しいと感じる理由は何ですか	複数	ノウハウがない 人材が足りない 資金がない その他(具体的に)	部会意見により新規追加	☆	
問3-6-4		感染症で困っていること	感染症(主に新型コロナウイルス感染症)発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具(PPE)の不足 検査キットの不足 職員の不足 利用者の減少 利用者家族とのコミュニケーション 対応方法がわからない その他(具体的に)	部会意見により選択肢追加	☆	
4 職員への対応について								
		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか		※表形式		×	
	一部	採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない		×	◎
	一部	採用状況	非常勤職員				×	○
	一部	定着状況	常勤職員		良い 比較的良い あまり良くない 良くない		×	○
	一部	定着状況	非常勤職員				×	○
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・離職の人数、定着状況をそれぞれ教えてください		※表形式	部会意見により既存設問を継続(新規項目と統合)	☆	
問4-1-1-A	一部	採用状況、採用・離職人数	常勤職員	記述	計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない	部会意見により既存設問を継続(新規項目と統合)	☆	◎
問4-1-1-B	一部	採用状況、採用・離職人数	非常勤職員		採用人数()人 離職人数()人	部会意見により既存設問を継続(新規項目と統合)	☆	○
問4-1-1-A	一部	定着状況	常勤職員		良い 比較的良い あまり良くない 良くない	部会意見により既存設問を継続	○	○
問4-1-1-B	一部	定着状況	非常勤職員				○	○
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか(3つ以内)	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他(具体的に)		○	
問4-1-3-A		サービス提供職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください	記述	職員数(常勤換算)()名		○	
問4-1-3-B		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。 ※「2.」の場合は()内に人数及びその理由		現状の職員数で十分である さらに職員が必要()名 必要⇒理由()		○	
問4-2		過去1年間の離職理由	過去1年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか(3つ以内)	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他(具体的に) 過去1年以内の離職はなかった		○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等(定期健康診断以外)を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他(具体的に) 特になし	部会意見により選択肢追加	○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他(具体的に)		☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に) 何も行っていない	部会意見により選択肢追加	○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他(具体的に)		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に)	部会意見により選択肢追加	○	○
5 自由記載								
問5		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

R4訪問リハビリテーション事業者調査

○ R1から継続
 × 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
 ☆ 新規

● 指標
 ○ 現状分析
 ◎ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	経営形態	事業所の経営形態について教えてください		株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他(具体的に)		○	
問1-2		所在地	事業所の所在地について教えてください		中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービス提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	一部	併設事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください		ある ない		○	
問1-5	一部	併設事業所の提供サービス	【問1-4で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください ※「27.」～「29.」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援(介護予防ケアマネジメント) 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護療養型医療施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス(訪問介護相当型)※ 通所型サービス(通所介護相当型)※ 通所型サービス(時間短縮型)※	(調査票のあて先となる事業者のサービスを、選択肢から除く)	○	
問1-6	一部	併設高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します		ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2	一部	直近1か月の提供状況		記述	※表形式		○	
問2-1	一部	総提供回数	令和4年●月の1か月あたりの訪問リハビリテーションサービスの総提供回数は何回ですか		医療保険適用(回) 介護保険適用(回) 合計(回)		○	
問2-2	一部	最大提供回数	(職員体制や設備の面から、)1か月あたりに訪問リハビリテーションサービス(介護予防サービスを含む)を提供可能な回数は最大で何回ですか		(回)		○	
3 事業所の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない		○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述	(記載例)リハビリテーションスタッフの給与と介護報酬が見合わない		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください	記述			○	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量(需要)を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他(具体的に) 特に問題はない		○	
問3-3		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他(具体的に) 特に何も行ってない		○	
問3-4-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他(具体的に)		○	
問3-4-2		解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-5-1		災害への備え	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他(具体的に)		○	
問3-5-2		災害時の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中 今後話し合う予定 その他(具体的に) 特に考えていない		☆	
		災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている 状況が整えば受入ができる 受入はできない	部会意見により対象整理(削除)	×	
問3-5-3		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)		○	
問3-5-4	一部	災害で困ったこと	災害(主に北海道胆振東部地震)発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡 利用者(またはその家族)との連絡 地域住民との協力 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)		○	

R4訪問リハビリテーション事業者調査

○ R1から継続
 × 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
 ☆ 新規

● 指標
 ○ 現状分析
 ◎ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問3-6-1		感染症への備え	感染症発生時の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画 (BCP) の策定 衛生用品や個人用防護具 (PPE) の確保 検査キットの確保 その他 (具体的に)	部会意見により対象整理 (⑮~⑲と分離)、選択肢追加	☆	
問3-6-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画 (BCP) の策定 衛生用品や個人用防護具 (PPE) の確保 検査キットの確保 職員の確保 その他 (具体的に)	部会意見により対象整理 (⑮~⑲と分離)、設問修正、回答形式変更、選択肢追加	☆	
問3-6-3	全部	感染症対策が難しいと感じる理由	感染症発生時における対策が難しいと感じる理由は何ですか	複数	ノウハウがない 人材が足りない 資金がない その他 (具体的に)	部会意見により新規追加	☆	
問3-6-4		感染症で困っていること	感染症 (主に新型コロナウイルス感染症) 発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具 (PPE) の不足 検査キットの不足 職員の不足 利用者の減少 利用者家族とのコミュニケーション 対応方法がわからない その他 (具体的に)	部会意見により選択肢追加	☆	
4 職員への対応について								
		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか		※表形式		×	
	一部	採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない		×	◎
	一部		非常勤職員				×	○
	一部	定着状況	常勤職員		良い 比較的良い あまり良くない 良くない		×	○
	一部		非常勤職員				×	○
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・離職の人数、定着状況をそれぞれ教えてください		※表形式	部会意見により既存設問を継続 (新規項目と統合)	☆	
問4-1-1-ア-A	一部	採用状況、採用・離職人数	常勤職員		計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない	部会意見により既存設問を継続 (新規項目と統合)	☆	◎
問4-1-1-ア-B	一部		非常勤職員		採用人数 () 人 離職人数 () 人	部会意見により既存設問を継続 (新規項目と統合)	☆	○
問4-1-1-イ-A	一部	定着状況	常勤職員		良い 比較的良い あまり良くない 良くない	部会意見により既存設問を継続	○	○
問4-1-1-イ-B	一部		非常勤職員				○	○
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか (3つ以内)	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他 (具体的に)		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください	記述	職員数 (常勤換算) () 名		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。 ※「2.」の場合は () 内に人数及びその理由		現状の職員数で十分である さらに職員が必要 () 名 必要⇒理由 ()		○	
問4-2		過去1年間の離職理由	過去1年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか (3つ以内)	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他 (具体的に) 過去1年以内の離職はなかった		○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等 (定期健康診断以外) を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他 (具体的に) 特にない	部会意見により選択肢追加	○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他 (具体的に)		☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与が得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他 (具体的に) 何も行っていない	部会意見により選択肢追加	○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他 (具体的に)		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他 (具体的に)	部会意見により選択肢追加	○	○
5 自由記載								
問5		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

R4通所介護、通所リハビリテーション、地域密着型通所介護事業者調査

○ R1から継続
 × 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
 ☆ 新規

● 指標
 ○ 現状分析
 ☆ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	経営形態	事業所の経営形態について教えてください		株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他(具体的に)		○	
問1-2		所在地	事業所の所在地について教えてください		中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービス提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	一部	サービス種類	提供しているサービスの種類について教えてください		通所介護 通所リハビリテーション 地域密着型通所介護		○	
問1-5	単独	リハビリ特化型サービス	【問1-4で「地域密着型通所介護」の方のみ】 いわゆるリハビリ特化型サービスを提供していますか		提供している 提供していない		☆	
問1-6	一部	併設事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください		ある ない		○	
問1-7	一部	併設事業所の提供サービス	【問1-6で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください ※「28.」～「30.」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援(介護予防ケアマネジメント) 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護療養型医療施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス(訪問介護相当型)※ 通所型サービス(通所介護相当型)※ 通所型サービス(時間短縮型)※	(調査票のあて先となる事業者のサービスを、選択肢から除く)	○	
問1-8	一部	併設高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します		ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	直近1か月の提供状況	令和4年●月の1か月間における、サービス(介護予防サービスを含む)の提供状況等について教えてください	記述	延べ利用者数(人) 利用定員(人) 営業日数(日)		○	
問2-2	一部	利用者の圏域	サービス利用者は、主にどのような範囲から通ってきていますか。もっとも多いものを教えてください		徒歩圏内 車で15分未満 車で15分以上30分未満 車で30分超		○	
問2-3	一部	提供メニュー	現在の貴事業所のサービス提供メニューについて教えてください	複数	食事提供 おやつ提供 入浴 送迎 身体を動かす内容(レクリエーション・体操など) ゲームや趣味、創作活動 音楽活動 介護予防による運動機能向上メニュー 介護予防による栄養改善メニュー 介護予防による口腔機能向上メニュー 理学療法士や作業療法士によるリハビリテーション 健康チェック(体温・血圧測定など) 生活相談 その他(具体的に)		○	
問2-4	単独	リハビリ特化型サービス	いわゆるリハビリ特化型サービスを提供していますか		提供している 提供していない		×	
3 事業所の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない		○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述	(記載例) 通所介護の送迎において、重度の方に対しての負担が大きいが、それに見合った報酬ではない		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください	記述			○	
問3-2	一部	総合事業の問題点	介護予防サービスまたは介護予防・日常生活支援総合事業サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をするうえで不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量(需要)を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他(具体的に) 特に問題はない 介護予防・日常生活支援総合事業サービスの指定を受けていない		○	
問3-3		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他(具体的に) 特に何も行ってない		○	
問3-4-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他(具体的に)		○	
問3-4-2		解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-5-1		災害への備え	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他(具体的に)		○	
問3-5-2		災害時の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中 今後話し合う予定 その他(具体的に) 特に考えていない		☆	
問3-5-3	一部	災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている 状況が整えば受入ができる 受入はできない	部会意見により対象整理 (①～④・⑥～⑩削除)	☆	
問3-5-4		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)		○	

R4通所介護、通所リハビリテーション、地域密着型通所介護事業者調査

○ R1から継続
× 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
☆ 新規

● 指標
○ 現状分析
◎ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問3-5-5	一部	災害で困ったこと	災害（主に北海道胆振東部地震）発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡 利用者（またはその家族）との連絡 地域住民との協力 備蓄・備品の不足 その他（具体的に）		○	
問3-6-1		感染症への備え	感染症発生時の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保 検査キットの確保 その他（具体的に）	部会意見により対象整理（⑮～⑲と分離）、選択肢追加	☆	
問3-6-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保 検査キットの確保 職員の確保 その他（具体的に）	部会意見により対象整理（⑮～⑲と分離）、設問修正、回答形式変更、選択肢追加	☆	
問3-6-3	全部	感染症対策が難しいと感じる理由	感染症発生時における対策が難しいと感じる理由は何ですか	複数	ノウハウがない 人材が足りない 資金がない その他（具体的に）	部会意見により新規追加	☆	
問3-6-4		感染症で困っていること	感染症（主に新型コロナウイルス感染症）発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具（PPE）の不足 検査キットの不足 職員の不足 利用者の減少 利用者家族とのコミュニケーション 対応方法がわからない その他（具体的に）	部会意見により選択肢追加	☆	
問3-7	一部	利用者と地域がつながる工夫	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他（具体的に） 特に何も行ってない		○	
4 職員への対応について								
		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか		※表形式		×	
	一部	採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない		×	◎
	一部	採用状況	非常勤職員				×	○
	一部	定着状況	常勤職員		良い 比較的良い あまり良くない 良くない		×	○
	一部	定着状況	非常勤職員				×	○
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・離職の人数、定着状況をそれぞれ教えてください		※表形式	部会意見により既存設問を継続（新規項目と統合）	☆	
問4-1-1-ア-A	一部	採用状況、採用・離職人数	常勤職員	記述	計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない	部会意見により既存設問を継続（新規項目と統合）	☆	◎
問4-1-1-ア-B	一部	採用状況、採用・離職人数	非常勤職員		採用人数（ ）人 離職人数（ ）人	部会意見により既存設問を継続（新規項目と統合）	☆	○
問4-1-1-イ-A	一部	定着状況	常勤職員		良い 比較的良い あまり良くない 良くない	部会意見により既存設問を継続	○	○
問4-1-1-イ-B	一部	定着状況	非常勤職員				○	○
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に）		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください	記述	職員数（常勤換算）（ ）名		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。 ※「2.」の場合は（ ）内に人数及びその理由		現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ ）名 必要⇒理由（ ）		○	
問4-2		過去1年間の離職理由	過去1年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に） 過去1年以内の離職はなかった		○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に） 特になし	部会意見により選択肢追加	○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に）		☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与が得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に） 何も行ってない	部会意見により選択肢追加	○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に）		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に）	部会意見により選択肢追加	○	○
5 自由記載								
問5		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

R4短期入所生活介護、短期入所療養介護事業者調査

○ R1から継続
× 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
☆ 新規

● 指標
○ 現状分析
◎ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	経営形態	事業所の経営形態について教えてください		株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他(具体的に)		○	
問1-2		所在地	事業所の所在地について教えてください		中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービス提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	一部	サービス種類	提供しているサービスの種類について教えてください		短期入所生活介護 短期入所療養介護		○	
問1-5	一部	併設事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください		ある ない		○	
問1-6	一部	併設事業所の提供サービス	【問1-5で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください ※「28.」～「30.」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援(介護予防ケアマネジメント) 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護療養型医療施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス(訪問介護相当型)※ 通所型サービス(通所介護相当型)※ 通所型サービス(時間短縮型)※	(調査票のあて先となる事業者のサービスを、選択肢から除く)	○	
問1-7	一部	併設高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します		ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1-1	単独	ベッド数	【問1-4で「生活介護」の方のみ】 ショートステイの事業形態について教えてください		専用床型(ベッド数 床) 空床利用型		○	
問2-1-2	単独	延べ利用日数(ショートステイ)	【問1-4で「生活介護」の方のみ】 令和4年●月～●月の3か月間のショートステイの延べ利用日数は何日ですか(介護予防サービスを含む)	記述	ショートステイ(日)		○	
問2-1-3	単独	延べ利用日数(一時的活用)	【問1-4で「生活介護」の方のみ】 令和4年●月～●月の3か月間のショートステイ専用床を特別養護老人ホーム床として一時的に活用している分の延べ利用日数は何日ですか(介護予防サービスを含む)	記述	一時的活用(日)		○	
問2-1-4	単独	専用床の増加予定	【問2-1-1で「専用床型」の方のみ】 今後、令和5年度までにショートステイ専用床を増やす予定はありますか。また、増やす予定がある場合、何床の増加を予定していますか		増やす予定がある(床増加) 増やす予定はない		○	
問2-1-5	単独	積極的な受入の意向	【問2-1-1で「空床利用型」の方のみ】 今後、積極的にショートステイ利用者を受け入れる意向はありますか		意向はある 意向はない		○	
問2-2-1	単独	延べ利用日数	【問1-4で「療養介護」の方のみ】 令和4年●月～●月の3か月間のショートステイの延べ利用日数は何日ですか(介護予防サービスを含む)	記述	(日)		○	
問2-2-2	単独	積極的な受入の意向	【問1-4で「療養介護」の方のみ】 今後、積極的にショートステイ利用者を受け入れる意向はありますか		意向がある 意向はない		○	
3 事業所の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない		○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述	(記載例) 重度の認知症、嚥下障害の方が多く、職員人数は基準以上に配慮する必要がある		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください	記述			○	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量(需要)を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他(具体的に) 特に問題はない		○	
問3-3		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他(具体的に) 特に何も行っていない		○	
問3-4-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他(具体的に)		○	
問3-4-2		解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-5	一部	夜間勤務体制	夜間の勤務体制(夜勤職員の配置)について教えてください		基準どおりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-6	一部	夜間の人員体制	夜間の人員体制について、ご意見などをご自由にお書きください	記述			○	
問3-7-1		災害への備え	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他(具体的に)		○	
問3-7-2		災害時の地域との協力体制	【問3-7-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中 今後話し合う予定 その他(具体的に) 特に考えていない		☆	
		災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている 状況が整えば受入ができる 受入はできない	部会意見により対象整理(削除)	×	

R4短期入所生活介護、短期入所療養介護事業者調査

○ R1から継続
× 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
☆ 新規

● 指標
○ 現状分析
◎ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問3-7-3		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)		○	
問3-7-4	一部	災害で困ったこと	災害(主に北海道胆振東部地震)発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡 利用者(またはその家族)との連絡 地域住民との協力 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)		○	
問3-8-1		感染症への備え	感染症発生時の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 衛生用品や個人用防護具(PPE)の確保 検査キットの確保 その他(具体的に)	部会意見により対象整理(⑮~⑲と分離)、選択肢追加	☆	
問3-8-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 衛生用品や個人用防護具(PPE)の確保 検査キットの確保 職員の確保 その他(具体的に)	部会意見により対象整理(⑮~⑲と分離)、設問修正、回答形式変更、選択肢追加	☆	
問3-8-3	全部	感染症対策が難しいと感じる理由	感染症発生時における対策が難しいと感じる理由は何ですか	複数	ノウハウがない 人材が足りない 資金がない その他(具体的に)	部会意見により新規追加	☆	
問3-8-4		感染症で困っていること	感染症(主に新型コロナウイルス感染症)発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具(PPE)の不足 検査キットの不足 職員の不足 利用者の減少 利用者家族とのコミュニケーション 対応方法がわからない その他(具体的に)	部会意見により選択肢追加	☆	
問3-9	一部	利用者と地域がつながる工夫	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事(盆踊り、花見、敬老会など)に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他(具体的に) 特に何も行ってない		○	
4 職員への対応について								
		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか		※表形式		×	◎
	一部	採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない		×	◎
	一部	採用状況	非常勤職員				×	◎
	一部	定着状況	常勤職員		良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		×	◎
	一部	定着状況	非常勤職員				×	◎
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・離職の人数、定着状況をそれぞれ教えてください		※表形式	部会意見により既存設問を継続(新規項目と統合)	☆	
問4-1-1-A	一部	採用状況、採用・離職人数	常勤職員	記述	計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない	部会意見により既存設問を継続(新規項目と統合)	☆	◎
問4-1-1-B	一部	採用状況、採用・離職人数	非常勤職員		採用人数()人 離職人数()人	部会意見により既存設問を継続(新規項目と統合)	☆	◎
問4-1-1-I-A	一部	定着状況	常勤職員		良い 比較的良好い あまり良くない 良くない	部会意見により既存設問を継続	☆	◎
問4-1-1-I-B	一部	定着状況	非常勤職員				☆	◎
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は(3つ以内)	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他(具体的に)		○	
問4-1-3-A		サービス提供職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください	記述	職員数(常勤換算)()名		○	
問4-1-3-I		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。 ※「2.」の場合は()内に人数及びその理由		現状の職員数で十分である さらに職員が必要()名 必要⇒理由()		○	
問4-2		過去1年間の離職理由	過去1年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何か多いと考えていますか(3つ以内)	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他(具体的に) 過去1年以内の離職はなかった		○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等(定期健康診断以外)を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他(具体的に) 特になし	部会意見により選択肢追加	○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他(具体的に)		☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に) 何も行ってない	部会意見により選択肢追加	○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他(具体的に)		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に)	部会意見により選択肢追加	○	○
5 自由記載								
問5		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

R4居宅介護支援事業者調査

○ R1から継続
× 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
☆ 新規

● 指標
○ 現状分析
◎ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	経営形態	事業所の経営形態について教えてください		株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他(具体的に)		○	
問1-2		所在地	事業所の所在地について教えてください		中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービス提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	一部	併設事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください		ある ない		○	
問1-5	一部	併設事業所の提供サービス	【問1-4で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください ※「27」～「29」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援(介護予防ケアマネジメント) 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護療養型医療施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス(訪問介護相当型)※ 通所型サービス(通所介護相当型)※ 通所型サービス(時間短縮型)※	(調査票のあて先となる事業者のサービスを、選択肢から除く)	○	
問1-6	一部	併設高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します		ある ない		○	
問1-7	単独	特定事業所加算	特定事業所加算の算定をしていますか	複数	特定事業所加算Iを算定 特定事業所加算IIを算定 特定事業所加算IIIを算定 特定事業所加算IVを算定 特定事業所加算は算定していない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	単独	平均ケアプラン作成件数(ケアマネ)	介護支援専門員1人あたりの令和4年●月の平均ケアプラン作成件数は何件ですか	記述	介護予防・総合事業プラン(地域包括支援センターからの再委託)(件) 要介護1・2の方を対象としたケアプラン(件) 要介護3～5の方を対象としたケアプラン(件)		○	
問2-2-1	一部	看取り経験	余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア(看取り)に取り組んだ経験がありますか		ある ない		○	
問2-2-2	単独	直近1年間の件数	【問2-2-1で「ある」の方のみ】 直近1年間で何件ありましたか	記述	(件)		○	
問2-3	一部	看取りの方針	ターミナルケア(看取り)についてどのように考えていますか		現時点では、事業所としての方針を明確にしていない 利用者の看取りまでは想定していない 制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい 現状でも、条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している		○	
問2-4	一部	看取るための条件	【問2-3で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】 ターミナルケア(看取り)を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上 介護職員が行える医療行為の範囲の拡大 本人の希望の確認と家族の協力 ほかの入居者・利用者(家族)の理解 訪問診療に応じてくれる医師との関わり ほかの介護サービス(訪問看護を除く)の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関 その他(具体的に)		○	○
3 事業所の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に関心はない		○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述	(記載例) 介護報酬が一律であるが、現状が安定した利用者には高く、逆に不安定で頻りに連絡・訪問する場合には見合った報酬になっていない		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください	記述			○	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	【問2-1で「介護予防・総合事業プラン」件数がある方のみ】 介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量(需要)を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他(具体的に) 特に関心はない		○	
問3-3		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他(具体的に) 特に関心はない		○	
問3-4-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他(具体的に)		○	
問3-4-2		解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-5-1		災害への備え	災害発生時の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 地域住民との協働体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他(具体的に)		○	
問3-5-2		災害時の地域との協働体制	【問3-5-1で「地域住民との協働体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協働体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中 今後話し合う予定 その他(具体的に) 特に関心はない		☆	
問3-5-3	一部	個別避難計画作成への協力	個別避難計画(要避難者の状況、避難先、避難支援者などをまとめたもの)の作成への協力についてどのように考えますか		協力できる・協力したい 協力はできない・協力したくない わからない		☆	
問3-5-4	一部	協力不可の理由	【問3-5-3で「協力はできない・したくない」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください		例) 事務負担が重いから		☆	
問3-5-5	一部	協力するための条件	【問3-5-3で「協力はできない・したくない」の方のみ】 どのような支援があれば作成できますか。具体的にお書きください		例) 報酬金額が見合えば協力したい		☆	
		災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている 状況が整えば受入ができる 受入はできない	部会意見により対象整理(削除)	×	
問3-5-6		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協働体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)		○	
問3-5-7	一部	災害で困ったこと	災害(主に北海道胆振東部地震)発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡 利用者(またはその家族)との連絡 地域住民との協力 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)		○	
問3-6-1		感染症への備え	感染症発生時の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 衛生用品や個人用防護具(PPE)の確保 検査キットの確保 その他(具体的に)	部会意見により対象整理(⑤～⑧と分離)、選択肢追加	☆	
問3-6-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 衛生用品や個人用防護具(PPE)の確保 検査キットの確保 職員の確保 その他(具体的に)	部会意見により対象整理(⑤～⑧と分離)、設問修正、回答形式変更、選択肢追加	☆	
問3-6-3	全部	感染症対策が難しいと感じる理由	感染症発生時における対策が難しいと感じる理由は何ですか	複数	ノウハウがない 人材が足りない 資金がない その他(具体的に)	部会意見により新規追加	☆	
問3-6-4		感染症で困っていること	感染症(主に新型コロナウイルス感染症)発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具(PPE)の不足 検査キットの不足 職員の不足 利用者の減少 利用者家族とのコミュニケーション 対応方法がわからない その他(具体的に)	部会意見により選択肢追加	☆	

R4居宅介護支援事業者調査

○ R1から継続
× 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
★ 新規

● 指標
○ 現状分析
◎ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
4 職員への対応について								
		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間の採用および定着状況はそれぞれいかがですか	※表形式			×	
	一部	採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない		×	◎
	一部	採用状況	非常勤職員				×	◎
	一部	定着状況	常勤職員		良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		×	◎
	一部	定着状況	非常勤職員				×	◎
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間の採用の採用状況と採用・離職の人数、定着状況をそれぞれ教えてください	※表形式		部会意見により既存設問を継続(新規項目と統合)	☆	
問4-1-1-ア-A	一部	採用状況、採用・離職人数	常勤職員	記述	計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない	部会意見により既存設問を継続(新規項目と統合)	☆	◎
問4-1-1-ア-B	一部	採用状況、採用・離職人数	非常勤職員		採用人数()人 離職人数()人	部会意見により既存設問を継続(新規項目と統合)	☆	◎
問4-1-1-イ-A	一部	定着状況	常勤職員		良い 比較的良好い あまり良くない 良くない	部会意見により既存設問を継続		◎
問4-1-1-イ-B	一部	定着状況	非常勤職員					◎
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法はありますか(3つ以内)	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他(具体的に)		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください	記述	職員数(常勤換算)()名		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。 ※「2.」の場合は()内に人数及びその理由	複数	現状の職員数で十分である さらに職員が必要()名 必要⇒理由()		○	
問4-2		過去1年間の離職理由	過去1年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか(3つ以内)	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他(具体的に) 過去1年以内の離職はなかった 基本給以外の手当を支給している 健康診断等(定期健康診断以外)を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他(具体的に) 特になし		○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている その他(具体的に)	部会意見により選択肢追加	○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他(具体的に)		☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか	複数	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員に必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に) 何も行っていない	部会意見により選択肢追加	○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか	複数	している していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他(具体的に)		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に)	部会意見により選択肢追加	○	○
5 介護支援専門員の意見について								
問5-1	一部	事業所の過不足	介護(予防)サービスの現状において、事業所の過不足についてどのように感じていますか	※表形式			○	
問5-1-1	一部	訪問介護	訪問介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-2	一部	訪問入浴介護	訪問入浴介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-3	一部	訪問看護	訪問看護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-4	一部	訪問リハビリテーション	訪問リハビリテーション		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-5	一部	居宅療養管理指導	居宅療養管理指導		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-6	一部	通所介護	通所介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-7	一部	通所リハビリテーション	通所リハビリテーション		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-8	一部	短期入所生活介護	短期入所生活介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-9	一部	短期入所療養介護	短期入所療養介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-10	一部	特定施設入居者生活介護	特定施設入居者生活介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-11	一部	福祉用具貸与	福祉用具貸与		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-12	一部	特定福祉用具販売	特定福祉用具販売		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-13	一部	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-14	一部	介護老人保健施設	介護老人保健施設		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-15	一部	介護療養型医療施設	介護療養型医療施設		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-16	一部	介護医療院	介護医療院		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-17	一部	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-18	一部	夜間対応型訪問介護	夜間対応型訪問介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-19	一部	地域密着型通所介護	地域密着型通所介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-20	一部	認知症対応型通所介護	認知症対応型通所介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-21	一部	小規模多機能型居宅介護	小規模多機能型居宅介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-22	一部	認知症対応型共同生活介護	認知症対応型共同生活介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-23	一部	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型特定施設入居者生活介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-24	一部	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-25	一部	看護小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-26	一部	居宅介護支援	居宅介護支援		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-27	一部	訪問型サービス(訪問介護相当型)	訪問型サービス(訪問介護相当型)		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-28	一部	通所型サービス(通所介護相当型)	通所型サービス(通所介護相当型)		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-29	一部	通所型サービス(時間短縮型)	通所型サービス(時間短縮型)		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-2	一部	業務上の困難・不安	業務を進めるうえで困難あるいは不安を感じていることはありますか	複数	アセスメントや居宅サービス計画の作成 系列事業所のサービスを居宅サービス計画に組み込むことを求められる サービス提供事業者などとの連携および調整 利用者本人・家族などとの連携および調整 サービス担当者会議が十分に機能していない 地域(町内会や民生委員など)との連携 医療との連携 知識の不足 1人で担当する利用者数が多い 給付管理・請求事務などの事務量が多い 待遇面で正当に評価されていない その他(具体的に) 特になし		○	◎
6 自由記載								
問6		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

R4介護予防支援事業者（地域包括支援センター）調査

○ R1から継続
 × 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
 ☆ 新規

● 指標
 ○ 現状分析
 ◎ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	経営形態	事業所の経営形態について教えてください		株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他（具体的に）		○	
問1-2		所在地	事業所の所在地について教えてください		中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	単独	平均ケアプラン作成件数（専門職員）	専門職員1人あたりの令和4年●月の平均ケアプラン作成件数（直営分のみ）は何件ですか	記述	要支援1（ 件） 要支援2（ 件） 事業対象者（ 件）		○	
問2-2	単独	平均ケアプラン作成件数（予防支援）	予防支援担当職員（プランナー）1人あたりの令和4年●月の平均ケアプラン作成件数（直営分のみ）は何件ですか	記述	要支援1（ 件） 要支援2（ 件） 事業対象者（ 件）		○	
問2-3	単独	ケアプラン上限数（専門職員）	現在、地域包括支援センター運営方針で示している専門職員のケアプラン担当の上限数や目安について伺います			部会意見により設問追加	☆	
問2-3-1	単独	妥当性	専門職員について、札幌市が設定しているケアプランの上限数や目安についてどのように考えますか		現状の上限数や目安は適切である 上限数や目安を上げる必要がある 上限数や目安を下げる必要がある 上限数や目安を設ける必要はない 特に意見はない わからない	部会意見により設問追加	☆	
問2-3-2	単独	理由	【問2-3-1で「上限数や目安を上げる（下げる）必要がある」「上限数や目安を設ける必要はない」の方のみ】その理由は何ですか。具体的にお書きください	記述			☆	
問2-3-3	単独	妥当な件数	【問2-3-1で「上限数や目安を上げる（下げる）必要がある」の方のみ】妥当と思われる件数は何件ですか	記述	（ 件）		☆	
問2-4	単独	ケアプラン上限数（予防支援担当職員）	現在、地域包括支援センター運営方針で示している予防支援担当職員のケアプラン担当の上限数や目安について伺います			部会意見により新規追加	☆	
問2-4-1	単独	妥当性	予防支援担当職員について、札幌市が設定しているケアプランの上限数や目安についてどのように考えますか		現状の上限数や目安は適切である 上限数や目安を上げる必要がある 上限数や目安を下げる必要がある 上限数や目安を設ける必要はない 特に意見はない わからない	部会意見により新規追加	☆	
問2-4-2	単独	理由	【問2-4-1で「上限数や目安を上げる（下げる）必要がある」「上限数や目安を設ける必要はない」の方のみ】その理由は何ですか。具体的にお書きください	記述		部会意見により新規追加	☆	
問2-4-3	単独	妥当な件数	【問2-4-1で「上限数や目安を上げる（下げる）必要がある」の方のみ】妥当と思われる件数は何件ですか	記述	（ 件）	部会意見により新規追加	☆	
3 事業所の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に） 特に問題はない		○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述	（記載例）要支援であっても、頻繁な訪問やプラン変更を要する利用者もいるため、介護報酬に見合わない場合がある		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】その理由は何ですか。具体的にお書きください	記述			○	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量（需要）を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他（具体的に） 特に問題はない		○	
問3-3		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に） 特に何も行ってない		○	
問3-4-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に）		○	
問3-4-2		解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-5-1		災害への備え	災害発生時の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協働体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に）		○	
問3-5-2		災害時の地域との協働体制	【問3-5-1で「地域住民との協働体制の構築」を選択しなかった方のみ】災害発生時に備えて、地域との協働体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に） 特に考えていない		☆	
		災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている 状況が整えば受け入ることができる 受入はできない	部会意見により対象整理（削除）	×	
問3-5-3	一部	個別避難計画作成への協力	個別避難計画（要避難者の状況、避難先、避難支援者などをまとめたもの）の作成への協力についてどのように考えますか		協力できる・協力したい 協力できない・協力したくない わからない		☆	
問3-5-4	一部	協力不可の理由	【問3-5-3で「協力できない・したくない」の方のみ】その理由は何ですか。具体的にお書きください		例）事務負担が重いから		☆	
問3-5-5	一部	協力するための条件	【問3-5-3で「協力できない・したくない」の方のみ】どのような支援があれば作成できますか。具体的にお書きください		例）報酬金額が見合えば協力したい		☆	
問3-5-6		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協働体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他（具体的に）		○	
問3-6-1		感染症への備え	感染症発生時の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保 検査キットの確保 その他（具体的に）	部会意見により対象整理（⑤～⑧と分離）、選択肢追加	☆	
問3-6-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保 検査キットの確保 職員の確保 その他（具体的に）	部会意見により対象整理（⑤～⑧と分離）、設問修正、回答形式変更、選択肢追加	☆	
問3-6-3	全部	感染症対策が難しいと感じる理由	感染症発生時における対策が難しいと感じる理由は何ですか	複数	ノウハウがない 人材が足りない 資金がない その他（具体的に）	部会意見により新規追加	☆	
問3-6-4		感染症で困っていること	感染症（主に新型コロナウイルス感染症）発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具（PPE）の不足 検査キットの不足 職員の不足 利用者の減少 利用者家族とのコミュニケーション 対応方法がわからない その他（具体的に）	部会意見により選択肢追加	☆	
4 職員への対応について								
		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか		※表形式		×	
	単独	採用状況	専門職員		計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない		×	
	単独	採用状況	予防支援担当職員				×	
	単独	定着状況	専門職員		良い 比較的良い あまり良くない 良くない		×	
	単独	定着状況	予防支援担当職員				×	

R4介護予防支援事業者（地域包括支援センター）調査

○ R1から継続
× 廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆ 新規

● 指標
○ 現状分析
◎ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・離職の人数、定着状況および平均在籍年数をそれぞれ教えてください		※表形式	部会意見により既存設問を継続（新規項目と統合）	☆	
問4-1-1-ア-A	単独	採用状況、採用・離職人数	専門職員	記述	計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない 採用人数（ 人） 離職人数（ 人）	部会意見により既存設問を継続（新規項目と統合）	☆	
問4-1-1-ア-B	単独		予防支援担当職員				☆	
問4-1-1-ア-C	単独		事務職員				☆	
問4-1-1-イ-A	単独	定着状況	専門職員		良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		○	
問4-1-1-イ-B	単独		予防支援担当職員				○	
問4-1-1-イ-C	単独		事務職員				☆	
問4-1-1-ウ-A	単独	当該職種としての平均在籍年数	専門職員	記述	平均在籍年数（ 年）		☆	
問4-1-1-ウ-B	単独		予防支援担当職員				☆	
問4-1-1-ウ-C	単独		事務職員				☆	
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法はありますか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に ）		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数					○	
問4-1-3-ア-A	単独	職員数（専門職）	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。	記述	職員数（専門職）（ 名）		○	
問4-1-3-ア-B	単独	職員数（予防支援担当職員）			職員数（予防支援担当職員）（ 名）		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。				○	
問4-1-3-イ-A	単独	過不足（専門職）	※「2.」の場合は（ ）内に人数及びその理由		現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ 名）必要⇒理由（ ）		○	
問4-1-3-イ-B	単独	過不足（予防支援担当職員）					○	
問4-2		過去1年間の離職理由	過去1年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に ） 過去1年以内の離職はなかった		○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に ） 特になし	部会意見により選択肢追加	○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に ）		☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ） 何も行っていない	部会意見により選択肢追加	○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に ）		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ）	部会意見により選択肢追加	○	○
5 介護支援専門員の意見について								
問5-1	一部	事業所の過不足	介護（予防）サービスの現状において、事業所の過不足についてどのように感じていますか		※表形式		○	
問5-1-1	一部	訪問介護	訪問介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-2	一部	訪問入浴介護	訪問入浴介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-3	一部	訪問看護	訪問看護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-4	一部	訪問リハビリテーション	訪問リハビリテーション		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-5	一部	居宅療養管理指導	居宅療養管理指導		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-6	一部	通所介護	通所介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-7	一部	通所リハビリテーション	通所リハビリテーション		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-8	一部	短期入所生活介護	短期入所生活介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-9	一部	短期入所療養介護	短期入所療養介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-10	一部	特定施設入居者生活介護	特定施設入居者生活介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-11	一部	福祉用具貸与	福祉用具貸与		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-12	一部	特定福祉用具販売	特定福祉用具販売		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-13	一部	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-14	一部	介護老人保健施設	介護老人保健施設		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-15	一部	介護療養型医療施設	介護療養型医療施設		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-16	一部	介護医療院	介護医療院		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-17	一部	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-18	一部	夜間対応型訪問介護	夜間対応型訪問介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-19	一部	地域密着型通所介護	地域密着型通所介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-20	一部	認知症対応型通所介護	認知症対応型通所介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-21	一部	小規模多機能型居宅介護	小規模多機能型居宅介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-22	一部	認知症対応型共同生活介護	認知症対応型共同生活介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-23	一部	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型特定施設入居者生活介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-24	一部	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-25	一部	看護小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-26	一部	居宅介護支援	居宅介護支援		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-27	一部	訪問型サービス（訪問介護相当型）	訪問型サービス（訪問介護相当型）		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-28	一部	通所型サービス（通所介護相当型）	通所型サービス（通所介護相当型）		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-1-29	一部	通所型サービス（時間短縮型）	通所型サービス（時間短縮型）		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-2	一部	業務上の困難・不安	業務を進めるうえで困難あるいは不安を感じていることはありますか	複数	アセスメントや居宅サービス計画の作成 系列事業所のサービスを居宅サービス計画書に組み込むことを求められる サービス提供事業者などとの連携および調整 利用者本人・家族などとの連携および調整 サービス担当者会議が十分に機能していない 地域（町内会や民生委員など）との連携 医療との連携 知識の不足 1人で担当する利用者数が多い 給付管理・請求事務などの事務量が多い 待遇面で正当に評価されていない その他（具体的に ） 特になし		○	◎
6 自由記載								
問6		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

R4定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業者調査

○ R1から継続
 × 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
 ☆ 新規

● 指標
 ○ 現状分析
 ◎ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	経営形態	事業所の経営形態について教えてください		株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他 (具体的に)		○	
問1-2		所在地	事業所の所在地について教えてください		中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービス提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	単独	事業所の形態	事業所の形態について教えてください		一体型 連携型		○	
問1-5	一部	併設事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください		ある ない		○	
問1-6	一部	併設事業所の提供サービス	【問1-5で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください ※「27.」～「29.」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援 (介護予防ケアマネジメント) 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護療養型医療施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス (訪問介護相当型) * 通所型サービス (通所介護相当型) * 通所型サービス (時間短縮型) *	(調査票のあて先となる事業者のサービスを、選択肢から除く)	○	
問1-7	一部	併設高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します		ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	直近1か月の提供状況		記述	※表形式		○	
問2-1-1	単独	総提供回数	令和4年●月の1か月あたりの定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの総提供回数は何回ですか		訪問介護 (定期巡回 (回) 随時訪問 (回)) 訪問看護 (定期巡回 (回) 随時訪問 (回))		○	
問2-1-2	単独	延べ提供人数	令和4年●月の1か月あたりの定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの延べ提供人数は何人ですか		訪問介護 (定期巡回 (人) 随時訪問 (人)) 訪問看護 (定期巡回 (人) 随時訪問 (人))		○	
問2-2	一部	常勤職員の提供回数	令和4年●月の1か月において、常勤職員が定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスを提供した回数は、1人あたり1日の平均・最大それぞれ何回ですか	記述	1人あたり1日平均提供回数 (回数) 1人あたり1日最大提供回数 (回数)		○	
問2-3	一部	移動時間、サービス提供時間	令和4年●月の1か月において、随時訪問サービスの移動時間とサービス提供時間について、それぞれ最長、最短、平均時間を教えてください	記述	随時訪問移動時間 (最長 (分) 最短 (分) 平均 (分)) 随時訪問サービス提供時間 (最長 (分) 最短 (分) 平均 (分))		○	
問2-4	一部	看取り経験	余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア (看取り) に取り組んだ経験がありますか		ある ない		○	
問2-5	一部	看取りの方針	ターミナルケア (看取り) についてどのように考えていますか		現時点では、事業所としての方針を明確にしていない 利用者の看取りまでは想定していない 制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい 現状でも、条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している		○	
問2-6	一部	看取るための条件	【問2-5で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】 ターミナルケア (看取り) を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか	複数	ほかの入居者・利用者 (家族) の理解 訪問診療に応じてくれる医師との関わり ほかの介護サービス (訪問看護を除く) の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関 その他 (具体的に)		○	○
問2-7	単独	利用者と地域がつながる工夫	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事 (盆踊り、花見、敬老会など) に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他 (具体的に) 特に何も行っていない		×	
3 事業所の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域 (町内会や民生委員など) との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他 (具体的に) 特に問題はない		○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述	(記載例) 定額報酬で日常生活を支える支援をすべてまかなうことは困難。設備・人件費・移動などのコストに見合わない		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください	記述			○	
問3-2		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他 (具体的に) 特に何も行っていない		○	
問3-3-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他 (具体的に)		○	
問3-3-2		解決できない問題	【問3-3-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-4	一部	夜間勤務体制	夜間の勤務体制 (夜勤職員の配置) について教えてください		基準どおりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-5	一部	夜間の人員体制	夜間の人員体制について、ご意見などをご自由にお書きください	記述			○	
問3-6-1		災害への備え	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画 (BCP) の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他 (具体的に)		○	
問3-6-2		災害時の地域との協力体制	【問3-6-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中 今後話し合う予定 その他 (具体的に) 特に考えていない		☆	
		災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている 状況が整えば受入ができる 受入はできない	部会意見により対象整理 (削除)	×	

R4定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業者調査

○ R1から継続
 × 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
 ☆ 新規

● 指標
 ○ 現状分析
 ◎ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問3-6-3		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)		○	
問3-6-4	一部	災害で困ったこと	災害(主に北海道胆振東部地震)発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡 利用者(またはその家族)との連絡 地域住民との協力 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)		○	
問3-7-1		感染症への備え	感染症発生時の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 衛生用品や個人用防護具(PPE)の確保 検査キットの確保 その他(具体的に)	部会意見により対象整理(⑮~⑳と分離)、選択肢追加	☆	
問3-7-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 衛生用品や個人用防護具(PPE)の確保 検査キットの確保 職員の確保 その他(具体的に)	部会意見により対象整理(⑮~⑳と分離)、設問修正、回答形式変更、選択肢追加	☆	
問3-7-3	全部	感染症対策が難しいと感じる理由	感染症発生時における対策が難しいと感じる理由は何ですか	複数	ノウハウがない 人材が足りない 資金がない その他(具体的に)	部会意見により新規追加	☆	
問3-7-4		感染症で困っていること	感染症(主に新型コロナウイルス感染症)発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具(PPE)の不足 検査キットの不足 職員の不足 利用者の減少 利用者家族とのコミュニケーション 対応方法がわからない その他(具体的に)	部会意見により選択肢追加	☆	
問3-8	一部	利用者と地域がつながる工夫	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事(盆踊り、花見、敬老会など)に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他(具体的に) 特に何も行ってない		☆	
4 職員への対応について								
		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか		※表形式		×	
	一部	採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない		×	◎
	一部	採用状況	非常勤職員				×	○
	一部	定着状況	常勤職員		良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		×	○
	一部	定着状況	非常勤職員				×	○
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・離職の人数、定着状況をそれぞれ教えてください		※表形式	部会意見により既存設問を継続(新規項目と統合)	☆	
問4-1-1-ア-A	一部	採用状況、採用・離職人数	常勤職員	記述	計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない	部会意見により既存設問を継続(新規項目と統合)	☆	◎
問4-1-1-ア-B	一部	採用状況、採用・離職人数	非常勤職員		採用人数()人 離職人数()人	部会意見により既存設問を継続(新規項目と統合)	☆	○
問4-1-1-イ-A	一部	定着状況	常勤職員		良い 比較的良好い あまり良くない 良くない	部会意見により既存設問を継続	○	○
問4-1-1-イ-B	一部	定着状況	非常勤職員				○	○
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか(3つ以内)	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他(具体的に)		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください	記述	職員数(常勤換算)()名		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。 ※「2.」の場合は()内に人数及びその理由		現状の職員数で十分である さらに職員が必要()名 必要⇒理由()		○	
問4-2		過去1年間の離職理由	過去1年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか(3つ以内)	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他(具体的に) 過去1年以内の離職はなかった		○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等(定期健康診断以外)を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他(具体的に) 特になし	部会意見により選択肢追加	○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他(具体的に)		☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に) 何も行ってない	部会意見により選択肢追加	○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他(具体的に)		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に)	部会意見により選択肢追加	○	○
5 自由記載								
問5		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

R4夜間対応型訪問介護事業者調査

○ R1から継続
 × 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
 ☆ 新規

● 指標
 ○ 現状分析
 ◎ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	経営形態	事業所の経営形態について教えてください		株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他(具体的に)		○	
問1-2		所在地	事業所の所在地について教えてください		中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービス提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	一部	併設事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください		ある ない		○	
問1-5	一部	併設事業所の提供サービス	併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください ※「27.」～「29.」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援(介護予防ケアマネジメント) 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護療養型医療施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス(訪問介護相当型)※ 通所型サービス(通所介護相当型)※ 通所型サービス(時間短縮型)※	(調査票のあて先となる事業者のサービスを、選択肢から除く)	○	
問1-6	一部	併設高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します		ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	直近1か月の提供状況		記述	※表形式		○	
問2-1-1	単独	総提供回数	令和4年●月の1か月あたりの夜間対応型訪問介護サービスの総提供回数は何回ですか		定期巡回(回) 随時訪問(回)		○	
問2-1-2	単独	延べ提供人数	令和4年●月の1か月あたりの夜間対応型訪問介護サービスの延べ提供人数は何人ですか		定期巡回(人) 随時訪問(人)		○	
問2-2		常勤職員の提供回数	令和4年●月の1か月において、常勤職員が夜間対応型訪問介護サービスを提供した回数は、1人あたり1日の平均・最大それぞれ何回ですか		1人あたり1日平均提供回数(回数) 1人あたり1日最大提供回数(回数)		○	
問2-3	一部	移動時間、サービス提供時間	令和4年●月の1か月において、随時訪問サービスの移動時間とサービス提供時間について、それぞれ最長、最短、平均時間を教えてください	記述	随時訪問移動時間(最長(分) 最短(分) 平均(分)) 随時訪問サービス提供時間(最長(分) 最短(分) 平均(分))		○	
3 事業所の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない		○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述	(記載例) 常時コール対応できる体制をとる必要があり、スタッフの配置が現状の報酬では困難		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】その理由は何ですか。具体的にお書きください	記述			○	
問3-2		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他(具体的に) 特に何も行っていません		○	
問3-3-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他(具体的に)		○	
問3-3-2		解決できない問題	【問3-3-1で「解決できない場合がある」の方のみ】解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-4-1		災害への備え	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他(具体的に)		○	
問3-4-2		災害時の地域との協力体制	【問3-4-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中 今後話し合う予定 その他(具体的に) 特に考えていない		☆	
		災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている 状況が整えば受入ができる 受入はできない	部会意見により対象整理(削除)	×	
問3-4-3		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)		○	
問3-4-4	一部	災害で困ったこと	災害(主に北海道胆振東部地震)発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡 利用者(またはその家族)との連絡 地域住民との協力 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)		○	
問3-5-1		感染症への備え	感染症発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 衛生用品や個人用防護具(PPE)の確保 検査キットの確保 その他(具体的に)	部会意見により対象整理(⑮～⑲と分離)、選択肢追加	☆	
問3-5-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 衛生用品や個人用防護具(PPE)の確保 検査キットの確保 職員の確保 その他(具体的に)	部会意見により対象整理(⑮～⑲と分離)、設問修正、回答形式変更、選択肢追加	☆	

R4夜間対応型訪問介護事業者調査

○ R1から継続
 × 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
 ☆ 新規

● 指標
 ○ 現状分析
 ☆ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問3-5-3	全部	感染症対策が難しいと感じる理由	感染症発生時における対策が難しいと感じる理由は何ですか	複数	ノウハウがない 人材が足りない 資金がない その他(具体的に)	部会意見により新規追加	☆	
問3-5-4		感染症で困っていること	感染症(主に新型コロナウイルス感染症)発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具(PPE)の不足 検査キットの不足 職員の不足 利用者の減少 利用者家族とのコミュニケーション 対応方法がわからない その他(具体的に)	部会意見により選択肢追加	☆	
問3-6	一部	利用者と地域がつながる工夫	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事(盆踊り、花見、敬老会など)に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他(具体的に) 特に何も行っていない		○	
4 職員への対応について								
		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか		※表形式		×	
	一部	採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない		×	◎
	一部		非常勤職員				×	○
	一部	定着状況	常勤職員		良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		×	○
	一部		非常勤職員				×	○
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・離職の人数、定着状況をそれぞれ教えてください		※表形式	部会意見により既存設問を継続(新規項目と統合)	☆	
問4-1-1-ア-A	一部	採用状況、採用・離職人数	常勤職員	記述	計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない	部会意見により既存設問を継続(新規項目と統合)	☆	◎
問4-1-1-ア-B	一部		非常勤職員		採用人数()人 離職人数()人	部会意見により既存設問を継続(新規項目と統合)	☆	○
問4-1-1-イ-A	一部	定着状況	常勤職員		良い 比較的良好い あまり良くない 良くない	部会意見により既存設問を継続	○	○
問4-1-1-イ-B	一部		非常勤職員				部会意見により既存設問を継続	○
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか(3つ以内)	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他(具体的に)		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください	記述	職員数(常勤換算)()名		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。※「2.」の場合は()内に人数及びその理由		現状の職員数で十分である さらに職員が必要()名 必要⇒理由()		○	
問4-2		過去1年間の離職理由	過去1年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか(3つ以内)	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他(具体的に) 過去1年以内の離職はなかった		○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等(定期健康診断以外)を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他(具体的に) 特になし	部会意見により選択肢追加	○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他(具体的に)		☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与が得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に) 何も行っていない	部会意見により選択肢追加	○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他(具体的に)		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に)	部会意見により選択肢追加	○	○
5 自由記載								
問5		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

R4認知症対応型通所介護事業者調査

○ R1から継続
× 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
☆ 新規

● 指標
○ 現状分析
◎ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	経営形態	事業所の経営形態について教えてください		株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他(具体的に)		○	
問1-2		所在地	事業所の所在地について教えてください		中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービス提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	一部	併設事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください		ある ない		○	
問1-5	一部	併設事業所の提供サービス	併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください ※「27.」～「29.」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援(介護予防ケアマネジメント) 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護療養型医療施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス(訪問介護相当型)※ 通所型サービス(通所介護相当型)※ 通所型サービス(時間短縮型)※	(調査票のあて先となる事業者のサービスを、選択肢から除く)	○	
問1-6	一部	併設高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します		ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	直近1か月の提供状況	令和4年●月の1か月間における、サービス(介護予防サービスを含む)の提供状況等について教えてください	記述	延べ利用者数(人) 利用定員(人) 営業日数(日)		○	
問2-2	一部	利用者の圏域	サービス利用者は、主にどのような範囲から通ってきていますか。もっとも多いものを教えてください		徒歩圏内 車で15分未満 車で15分以上30分未満 車で30分超		○	
問2-3	一部	提供メニュー	現在の貴事業所のサービス提供メニューについて教えてください	複数	食事提供 おやつ提供 入浴 送迎 身体を動かす内容(レクリエーション・体操など) ゲームや趣味、創作活動 音楽活動 介護予防による運動機能向上メニュー 介護予防による栄養改善メニュー 介護予防による口腔機能向上メニュー 理学療法士や作業療法士によるリハビリテーション 健康チェック(体温・血圧測定など) 生活相談 その他(具体的に)		○	
3 事業所の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない		○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述	(記載例) 認知症を有しているため、準備などを職員が行う場合や、再度送迎が必要なことがあり、数多くの職員を必要としている		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください	記述			○	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量(需要)を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他(具体的に) 特に問題はない		○	
問3-3		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他(具体的に) 特に何も行ってない		○	
問3-4-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他(具体的に)		○	
問3-4-2		解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-5-1		災害への備え	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他(具体的に)		○	
問3-5-2		災害時の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中 今後話し合う予定 その他(具体的に) 特に考えていない		☆	
問3-5-3	一部	災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている 状況が整えば受入ができる 受入はできない	部会意見により対象整理(①～④・⑥～⑩削除)	☆	
問3-5-4		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)		○	
問3-5-5	一部	災害で困ったこと	災害(主に北海道胆振東部地震)発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡 利用者(またはその家族)との連絡 地域住民との協力 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)		○	
問3-6-1		感染症への備え	感染症発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 衛生用品や個人用防護具(PPE)の確保 検査キットの確保 その他(具体的に)	部会意見により対象整理(⑮～⑲と分離)、選択肢追加	☆	

R4認知症対応型通所介護事業者調査

○ R1から継続
× 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
☆ 新規

● 指標
○ 現状分析
◎ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問3-6-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画 (BCP) の策定 衛生用品や個人用防護具 (PPE) の確保 検査キットの確保 職員の確保 その他 (具体的に)	部会意見により対象整理 (⑮~⑳と分離)、設問修正、回答形式変更、選択肢追加	☆	
問3-6-3	全部	感染症対策が難しいと感じる理由	感染症発生時における対策が難しいと感じる理由は何ですか	複数	ノウハウがない 人材が足りない 資金がない その他 (具体的に)	部会意見により新規追加	☆	
問3-6-4		感染症で困っていること	感染症 (主に新型コロナウイルス感染症) 発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具 (PPE) の不足 検査キットの不足 職員の不足 利用者の減少 利用者家族とのコミュニケーション 対応方法がわからない その他 (具体的に)	部会意見により選択肢追加	☆	
問3-7	一部	利用者地域がつながる工夫	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事 (盆踊り、花見、敬老会など) に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他 (具体的に) 特に何も行っていない		○	
4 職員への対応について								
		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか		※表形式		×	
	一部	採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない		×	◎
	一部		非常勤職員				×	○
	一部	定着状況	常勤職員		良い 比較的良い あまり良くない 良くない		×	○
	一部		非常勤職員				×	○
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・離職の人数、定着状況をそれぞれ教えてください		※表形式	部会意見により既存設問を継続 (新規項目と統合)	☆	
問4-1-1-A	一部	採用状況、採用・離職人数	常勤職員	記述	計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない	部会意見により既存設問を継続 (新規項目と統合)	☆	◎
問4-1-1-B	一部		非常勤職員		採用人数 () 人 離職人数 () 人		☆	○
問4-1-1-A	一部	定着状況	常勤職員		良い 比較的良い あまり良くない 良くない	部会意見により既存設問を継続	○	○
問4-1-1-B	一部		非常勤職員				○	○
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか (3つ以内)	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他 (具体的に)		○	
問4-1-3-A		サービス提供職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください	記述	職員数 (常勤換算) () 名		○	
問4-1-3-B		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。 ※「2.」の場合は () 内に人数及びその理由		現状の職員数で十分である さらに職員が必要 () 名 必要⇒理由 ()		○	
問4-2		過去1年間の離職理由	過去1年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか (3つ以内)	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他 (具体的に) 過去1年以内の離職はなかった		○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等 (定期健康診断以外) を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他 (具体的に) 特にない	部会意見により選択肢追加	○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他 (具体的に)		☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与が得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他 (具体的に) 何も行っていない	部会意見により選択肢追加	○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他 (具体的に)		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他 (具体的に)	部会意見により選択肢追加	○	○
5 自由記載								
問5		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

R4小規模多機能型居宅介護事業者調査

○ R1から継続
× 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
☆ 新規

● 指標
○ 現状分析
◎ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	経営形態	事業所の経営形態について教えてください		株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他(具体的に)		○	
問1-2		所在地	事業所の所在地について教えてください		中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービス提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	一部	併設事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください		ある ない		○	
問1-5	一部	併設事業所の提供サービス	併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください ※「27.」～「29.」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援(介護予防ケアマネジメント) 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護療養型医療施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス(訪問介護相当型)※ 通所型サービス(通所介護相当型)※ 通所型サービス(時間短縮型)※	(調査票のあて先となる事業者のサービスを、選択肢から除く)	○	
問1-6	一部	併設高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します		ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	登録者数	令和4年●月1日現在の登録者数は何名ですか。また、登録者のうち、併設する高齢者共同住宅の利用者は何名ですか(要支援1・2を含む)	記述	登録者数(名) うち併設住宅利用者(名)		○	
問2-2	一部	訪問看護利用者数	問2-1の登録者数のうち、訪問看護の利用者数は何名ですか。また、訪問看護の利用者数のうち、併設する高齢者共同住宅の利用者は何名ですか(要支援1・2を含む)	記述	訪問看護利用者数(名) うち併設住宅利用者数(名)		○	
問2-3	一部	延べ利用回数	令和4年●月の1か月間の延べ利用回数は何回ですか。通い、泊り、訪問介護のそれぞれについて教えてください(介護予防サービスを含む)	記述	通い(回) 泊り(回) 訪問介護(回)		○	
3 事業所の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない		○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述	(記載例)ひとり暮らしの方、高齢者世帯の訪問を臨機応変に行っており、訪問回数・時間が増大し、その分だけ職員数を必要としている		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください	記述			○	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量(需要)を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他(具体的に) 特に問題はない		○	
問3-3		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他(具体的に) 特に何も行ってない		○	
問3-4-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他(具体的に)		○	
問3-4-2		解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-5	一部	夜間勤務体制	夜間の勤務体制(夜勤職員の配置)について教えてください		基準どおりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-6	一部	夜間の人員体制	夜間の人員体制について、ご意見などをご自由にお書きください	記述			○	
問3-7-1		災害への備え	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他(具体的に)		○	
問3-7-2		災害時の地域との協力体制	【問3-7-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中 今後話し合う予定 その他(具体的に) 特に考えていない		☆	
問3-7-3	一部	災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている 状況が整えば受入ができる 受入はできない	部会意見により対象整理(①～④・⑥～⑩削除)	☆	
問3-7-4		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)		○	
問3-7-5	一部	災害で困ったこと	災害(主に北海道胆振東部地震)発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡 利用者(またはその家族)との連絡 地域住民との協力 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)		○	
問3-8-1		感染症への備え	感染症発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 衛生用品や個人用防護具(PPE)の確保 検査キットの確保 その他(具体的に)	部会意見により対象整理(⑮～⑲と分離)、選択肢追加	☆	

R4小規模多機能型居宅介護事業者調査

○ R1から継続
× 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
☆ 新規

● 指標
○ 現状分析
◎ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問3-8-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画 (BCP) の策定 衛生用品や個人用防護具 (PPE) の確保 検査キットの確保 職員の確保 その他 (具体的に)	部会意見により対象整理 (⑮~⑳と分離)、設問修正、回答形式変更、選択肢追加	☆	
問3-8-3	全部	感染症対策が難しいと感じる理由	感染症発生時における対策が難しいと感じる理由は何ですか	複数	ノウハウがない 人材が足りない 資金がない その他 (具体的に)	部会意見により新規追加	☆	
問3-8-4		感染症で困っていること	感染症 (主に新型コロナウイルス感染症) 発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具 (PPE) の不足 検査キットの不足 職員の不足 利用者の減少 利用者家族とのコミュニケーション 対応方法がわからない その他 (具体的に)	部会意見により選択肢追加	☆	
問3-9	一部	利用者と地域がつながる工夫	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事 (盆踊り、花見、敬老会など) に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他 (具体的に) 特に何も行っていない		○	
4 職員への対応について								
		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか		※表形式		×	
	一部	採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない		×	◎
	一部		非常勤職員				×	○
	一部	定着状況	常勤職員		良い 比較的良い あまり良くない 良くない		×	○
	一部		非常勤職員				×	○
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・離職の人数、定着状況をそれぞれ教えてください		※表形式	部会意見により既存設問を継続 (新規項目と統合)	☆	
問4-1-1-ア-A	一部	採用状況、採用・離職人数	常勤職員	記述	計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない	部会意見により既存設問を継続 (新規項目と統合)	☆	◎
問4-1-1-ア-B	一部		非常勤職員		採用人数 (人) 離職人数 (人)		☆	○
問4-1-1-イ-A	一部	定着状況	常勤職員		良い 比較的良い あまり良くない 良くない	部会意見により既存設問を継続	○	○
問4-1-1-イ-B	一部		非常勤職員				○	○
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか (3つ以内)	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他 (具体的に)		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください	記述	職員数 (常勤換算) (名)		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。 ※「2.」の場合は () 内に人数及びその理由		現状の職員数で十分である さらに職員が必要 (名) 必要⇒理由 ()		○	
問4-2		過去1年間の離職理由	過去1年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか (3つ以内)	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他 (具体的に) 過去1年以内の離職はなかった		○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等 (定期健康診断以外) を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他 (具体的に) 特にない	部会意見により選択肢追加	○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他 (具体的に)		☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他 (具体的に) 何も行っていない	部会意見により選択肢追加	○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他 (具体的に)		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他 (具体的に)	部会意見により選択肢追加	○	○
5 介護支援専門員の意見について								
問5	一部	業務上の困難・不安	業務を進めるうえで困難あるいは不安を感じていることはありますか	複数	アセスメントや居宅サービス計画の作成 系列事業所のサービスを居宅サービス計画書に組み込むことを求められる サービス提供事業者などとの連携および調整 利用者本人・家族などとの連携および調整 サービス担当者会議が十分に機能していない 地域 (町内会や民生委員など) との連携 医療との連携 知識の不足 1人で担当する利用者数が多い 給付管理・請求事務などの事務量が多い 待遇面で正当に評価されていない その他 (具体的に) 特にない		○	◎
6 自由記載								
問6		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

R4認知症対応型共同生活介護事業者調査

○ R1から継続
 × 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
 ☆ 新規

● 指標
 ○ 現状分析
 ◎ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	経営形態	事業所の経営形態について教えてください		株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他 (具体的に)		○	
問1-2		所在地	事業所の所在地について教えてください		中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービス提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	一部	併設事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください		ある ない		○	
問1-5	一部	併設事業所の提供サービス	【問1-4で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください ※「27.」～「29.」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援 (介護予防ケアマネジメント) 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護療養型医療施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス (訪問介護相当型) ※ 通所型サービス (通所介護相当型) ※ 通所型サービス (時間短縮型) ※	(調査票のあて先となる事業者のサービスを、選択肢から除く)	○	
問1-6	一部	併設高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します		ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	事業所 (施設) の定員、入所者の状況	令和4年●月1日現在における、事業所 (施設) の定員および入所 (入居) 者の状況についてお答えください (短期入所生活介護分を除く)	記述	※表形式		○	
問2-1-1	一部	定員	定員		全体 (人)		○	
問2-1-2	一部	ユニット数	ユニット数		全体 (ユニット)		○	
問2-1-3	一部	入所 (入居) 者数	入所 (入居) 者数合計		全体 (名) うち、札幌市外の介護保険被保険者 (名)		○	
	単独		要支援2		全体 (名) うち、札幌市外の介護保険被保険者 (名)		○	
	一部		要介護1		全体 (名) うち、札幌市外の介護保険被保険者 (名)		○	
	一部		要介護2		全体 (名) うち、札幌市外の介護保険被保険者 (名)		○	
	一部		要介護3		全体 (名) うち、札幌市外の介護保険被保険者 (名)		○	
	一部		要介護4		全体 (名) うち、札幌市外の介護保険被保険者 (名)		○	
問2-2	一部	看取り経験	余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア (看取り) に取り組んだ経験がありますか		ある ない		○	
問2-3	一部	看取りの方針	ターミナルケア (看取り) についてどのように考えていますか		現時点では、事業所としての方針を明確にしていない 利用者の看取りまでは想定していない 制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい 現状でも、条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している		○	
問2-4	一部	看取るための条件	【問2-3で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】 ターミナルケア (看取り) を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上 介護職員が行える医療行為の範囲の拡大 本人の希望の確認と家族の協力 ほかの入居者・利用者 (家族) の理解 訪問診療に応じてくれる医師との関わり ほかの介護サービス (訪問看護を除く) の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関 その他 (具体的に)		○	○
3 事業所の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域 (町内会や民生委員など) との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他 (具体的に) 特に問題はない		○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述	(記載例) ケアの結果として身体状態が良くなっても、かえって介護報酬が下がってしまう。入居者が重度化していく中で、人数を多めに配置せざるを得ない		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください	記述			○	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量 (需要) を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者へ説明できない その他 (具体的に) 特に問題はない		○	
問3-3		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他 (具体的に) 特に何も行ってない		○	
問3-4-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他 (具体的に)		○	
問3-4-2		解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-5	一部	夜間勤務体制	夜間の勤務体制 (夜勤職員の配置) について教えてください		基準どりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-6	一部	夜間の人員体制	夜間の人員体制について、ご意見などをご自由にお書きください	記述			○	
問3-7-1		災害への備え	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画 (BCP) の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他 (具体的に)		○	
問3-7-2		災害時の地域との協力体制	【問3-7-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中 今後話し合う予定 その他 (具体的に) 特に考えていない		☆	
問3-7-3	一部	災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている 状況が整えば受入ができる 受入はできない	部会意見により対象整理 (①～④・⑥～⑩削除)	☆	

R4認知症対応型共同生活介護事業者調査

○ R1から継続
× 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
☆ 新規

● 指標
○ 現状分析
◎ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問3-7-4		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)		○	
問3-7-5	一部	災害で困ったこと	災害(主に北海道胆振東部地震)発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡 利用者(またはその家族)との連絡 地域住民との協力 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)		○	
問3-8-1		感染症への備え	感染症発生時の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 衛生用品や個人用防護具(PPE)の確保 検査キットの確保 その他(具体的に)	部会意見により対象整理(⑮~⑳と分離)、選択肢追加	☆	
問3-8-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 衛生用品や個人用防護具(PPE)の確保 検査キットの確保 職員の確保 その他(具体的に)	部会意見により対象整理(⑮~⑳と分離)、設問修正、回答形式変更、選択肢追加	☆	
問3-8-3	全部	感染症対策が難しいと感じる理由	感染症発生時における対策が難しいと感じる理由は何ですか	複数	ノウハウがない 人材が足りない 資金がない その他(具体的に)	部会意見により新規追加	☆	
問3-8-4		感染症で困っていること	感染症(主に新型コロナウイルス感染症)発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具(PPE)の不足 検査キットの不足 職員の不足 利用者の減少 利用者家族とのコミュニケーション 対応方法がわからない その他(具体的に)	部会意見により選択肢追加	☆	
問3-9	一部	利用者と地域がつながる工夫	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事(盆踊り、花見、敬老会など)に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他(具体的に) 特に何も行ってない		○	
4 職員への対応について								
		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間に於ける職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか		※表形式		×	
	一部	採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない		×	◎
	一部	採用状況	非常勤職員				×	○
	一部	定着状況	常勤職員		良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		×	○
	一部	定着状況	非常勤職員				×	○
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間に於ける職員の採用状況と採用・離職の人数、定着状況をそれぞれ教えてください		※表形式	部会意見により既存設問を継続(新規項目と統合)	☆	
問4-1-1-ア-A	一部	採用状況、採用・離職人数	常勤職員	記述	計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない	部会意見により既存設問を継続(新規項目と統合)	☆	◎
問4-1-1-ア-B	一部	採用状況、採用・離職人数	非常勤職員		採用人数()人 離職人数()人	部会意見により既存設問を継続(新規項目と統合)	☆	○
問4-1-1-イ-A	一部	定着状況	常勤職員		良い 比較的良好い あまり良くない 良くない	部会意見により既存設問を継続	○	○
問4-1-1-イ-B	一部	定着状況	非常勤職員				○	○
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか(3つ以内)	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他(具体的に)		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください	記述	職員数(常勤換算)()名		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。 ※「2.」の場合は()内に人数及びその理由		現状の職員数で十分である さらに職員が必要()名 必要⇒理由()		○	
問4-2		過去1年間の離職理由	過去1年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何か多くと考えていますか(3つ以内)	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他(具体的に) 過去1年以内の離職はなかった		○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等(定期健康診断以外)を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他(具体的に) 特になし	部会意見により選択肢追加	○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他(具体的に)		☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に) 何も行ってない	部会意見により選択肢追加	○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他(具体的に)		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に)	部会意見により選択肢追加	○	○
5 自由記載								
問5		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

R4看護小規模多機能型居宅介護事業者調査

○ R1から継続
 × 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
 ☆ 新規

● 指標
 ○ 現状分析
 ◎ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	経営形態	事業所の経営形態について教えてください		株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他(具体的に)		○	
問1-2		所在地	事業所の所在地について教えてください		中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービス提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	一部	併設事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください		ある ない		○	
問1-5	一部	併設事業所の提供サービス	【問1-4で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください ※「27.」～「29.」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援(介護予防ケアマネジメント) 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護療養型医療施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス(訪問介護相当型)※ 通所型サービス(通所介護相当型)※ 通所型サービス(時間短縮型)※	(調査票のあて先となる事業者のサービスを、選択肢から除く)	○	
問1-6	一部	併設高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します		ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	登録者数	令和4年●月1日現在の登録者数は何名ですか。また、登録者のうち、併設する高齢者共同住宅の利用者は何名ですか	記述	登録者数(名) うち併設住宅利用者(名)		○	
問2-2	一部	訪問看護利用者数	問2-1の登録者数のうち、訪問看護の利用者数は何名ですか。また、訪問看護の利用者数のうち、併設する高齢者共同住宅の利用者は何名ですか	記述	訪問看護利用者数(名) うち併設住宅利用者数(名)		○	
問2-3	一部	延べ利用回数	令和4年●月の1か月間の延べ利用日数は何日ですか。通い、泊り、訪問介護、訪問看護のそれぞれについて教えてください	記述	通い(回) 泊り(回) 訪問介護(回) 訪問看護(回)		○	
問2-4	一部	看取り経験	余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア(看取り)に取り組んだ経験がありますか		ある ない		○	
問2-5	一部	看取りの方針	ターミナルケア(看取り)についてどのように考えていますか		現時点では、事業所としての方針を明確にしていない 利用者の看取りまでは想定していない 制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい 現状でも、条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している		○	
問2-6	一部	看取るための条件	【問2-5で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】 ターミナルケア(看取り)を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか	複数	ほかの入居者・利用者(家族)の理解 訪問診療に応じてくれる医師との関わり ほかの介護サービス(訪問看護を除く)の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関 その他(具体的に)		○	○
3 事業所の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない		○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述	(記載例)ひとり暮らしの方、高齢者世帯の訪問を臨機応変に行っており、訪問回数・時間が増大し、その分だけ職員数を必要としている		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください	記述			○	
問3-2		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他(具体的に) 特に何も行ってない		○	
問3-3-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他(具体的に)		○	
問3-3-2		解決できない問題	【問3-3-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-4	一部	夜間勤務体制	夜間の勤務体制(夜勤職員の配置)について教えてください		基準どおりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-5	一部	夜間の人員体制	夜間の人員体制について、ご意見などをご自由にお書きください	記述			○	
問3-6-1		災害への備え	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他(具体的に)		○	
問3-6-2		災害時の地域との協力体制	【問3-6-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中 今後話し合う予定 その他(具体的に) 特に考えていない		☆	
問3-6-3	一部	災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている 状況が整えば受入ができる 受入はできない	部会意見により対象整理(①～④・⑥～⑩削除)	☆	
問3-6-4		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)		○	
問3-6-5	一部	災害で困ったこと	災害(主に北海道胆振東部地震)発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡 利用者(またはその家族)との連絡 地域住民との協力 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)		○	
問3-7-1		感染症への備え	感染症発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 衛生用品や個人用防護具(PPE)の確保 検査キットの確保 その他(具体的に)	部会意見により対象整理(⑮～⑲と分離)、選択肢追加	☆	

R4看護小規模多機能型居宅介護事業者調査

○ R1から継続
× 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
☆ 新規

● 指標
○ 現状分析
◎ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問3-7-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画 (BCP) の策定 衛生用品や個人用防護具 (PPE) の確保 検査キットの確保 職員の確保 その他 (具体的に)	部会意見により対象整理 (⑮~⑲と分離)、設問修正、回答形式変更、選択肢追加	☆	
問3-7-3	全部	感染症対策が難しいと感じる理由	感染症発生時における対策が難しいと感じる理由は何ですか	複数	ノウハウがない 人材が足りない 資金がない その他 (具体的に)	部会意見により新規追加	☆	
問3-7-4		感染症で困っていること	感染症 (主に新型コロナウイルス感染症) 発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具 (PPE) の不足 検査キットの不足 職員の不足 利用者の減少 利用者家族とのコミュニケーション 対応方法がわからない その他 (具体的に)	部会意見により選択肢追加	☆	
問3-8	一部	利用者地域がつながる工夫	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	地域行事 (盆踊り、花見、敬老会など) に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他 (具体的に) 特に何も行っていない		○	
4 職員への対応について								
		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか		※表形式		×	
	一部	採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない		×	◎
	一部	採用状況	非常勤職員				×	○
	一部	定着状況	常勤職員		良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		×	○
	一部	定着状況	非常勤職員				×	○
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・離職の人数、定着状況をそれぞれ教えてください		※表形式	部会意見により既存設問を継続 (新規項目と統合)	☆	
問4-1-1-ア	一部	採用状況、採用・離職人数	常勤職員	記述	計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない	部会意見により既存設問を継続 (新規項目と統合)	☆	◎
問4-1-1-ア	一部	採用状況、採用・離職人数	非常勤職員	記述	採用人数 (人) 離職人数 (人)	部会意見により既存設問を継続 (新規項目と統合)	☆	○
問4-1-1-イ	一部	定着状況	常勤職員		良い 比較的良好い あまり良くない 良くない	部会意見により既存設問を継続	○	○
問4-1-1-イ	一部	定着状況	非常勤職員				○	○
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法はありますか (3つ以内)	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他 (具体的に)		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください	記述	職員数 (常勤換算) (名)		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。 ※「2」の場合は () 内に人数及びその理由	記述	現状の職員数で十分である さらに職員が必要 (名) 必要⇒理由 ()		○	
問4-2		過去1年間の離職理由	過去1年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか (3つ以内)	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他 (具体的に) 過去1年以内の離職はなかった		○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等 (定期健康診断以外) を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他 (具体的に) 特にない	部会意見により選択肢追加	○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他 (具体的に)		☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか	複数	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他 (具体的に) 何も行っていない	部会意見により選択肢追加	○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他 (具体的に)		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他 (具体的に)	部会意見により選択肢追加	○	○
5 介護支援専門員の意見について								
問5	一部	業務上の困難・不安	業務を進めるうえで困難あるいは不安を感じていることはありますか	複数	アセスメントや居宅サービス計画の作成 系列事業所のサービスを居宅サービス計画書に組み込むことを求められる サービス提供事業者などとの連携および調整 利用者本人・家族などとの連携および調整 サービス担当者会議が十分に機能していない 地域 (町内会や民生委員など) との連携 医療との連携 知識の不足 1人で担当する利用者数が多い 給付管理・請求事務などの事務量が多い 待遇面で正当に評価されていない その他 (具体的に) 特にない		○	◎
6 自由記載								
問6		介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください		記述			○	

R4介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設調査

○ R1から継続
× 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
☆ 新規

● 指標
○ 現状分析
◎ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1 事業所について								
問1-1		所在地	施設の所在地について教えてください		中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-2	一部	施設形態	施設の形態について教えてください		従来型 一部ユニット型 ユニット型 地域密着型		○	
問1-3	一部	併設事業の有無	併設する介護保険サービス事業の有無について教えてください		ある ない		○	
問1-4	一部	併設事業の提供サービス	【問1-3で「併設あり」の方のみ】 併設する事業が提供している介護保険サービスについて教えてください ※「26」～「28」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅介護管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援 (介護予防ケアマネジメント) 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護療養型医療施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス (訪問介護相当型) 通所型サービス (通所介護相当型) 通所型サービス (時間短縮型) 等	(調査票のあて先となる事業者のサービスを、選択肢から除く)	○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	事業所 (施設) の定員、入所者の状況	令和4年●月1日現在における、事業所 (施設) の定員および入所 (入居) 者の状況についてお答えください (短期入所生活介護分を除く)	記述	※表形式		○	
問2-1-1	一部	定員	定員		全体 (人)		○	
問2-1-2	一部	ユニット数	ユニット数		全体 (ユニット)		○	
問2-1-3	一部	入所 (入居) 者数	入所 (入居) 者数合計		全体 (名) うち、札幌市外の介護保険被保険者 (名)		○	
	一部		要介護1		全体 (名) うち、札幌市外の介護保険被保険者 (名)		○	
	一部		要介護2		全体 (名) うち、札幌市外の介護保険被保険者 (名)		○	
	一部		要介護3		全体 (名) うち、札幌市外の介護保険被保険者 (名)		○	
	一部		要介護4		全体 (名) うち、札幌市外の介護保険被保険者 (名)		○	
	一部		要介護5		全体 (名) うち、札幌市外の介護保険被保険者 (名)		○	
	一部		その他 (経過措置を含む)		全体 (名) うち、札幌市外の介護保険被保険者 (名)		○	
問2-2	一部	入所前の状況	「令和3年●月1日から令和4年●月31日までの1年間における入所者全員」の入所前の状況について教えてください	記述	※表形式		○	
問2-2-1	一部	居宅	居宅		要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護5 (名)		○	
問2-2-2	一部	ケアハウス・軽費老人ホーム	ケアハウス・軽費老人ホーム		要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護5 (名)		○	
問2-2-3	一部	有料老人ホーム	有料老人ホーム		要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護5 (名)		○	
問2-2-4	一部	養護老人ホーム	養護老人ホーム		要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護5 (名)		○	
問2-2-5	一部	認知症高齢者グループホーム	認知症高齢者グループホーム		要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護5 (名)		○	
問2-2-6	一部	サービス付き高齢者向け住宅	サービス付き高齢者向け住宅		要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護5 (名)		○	
問2-2-7	一部	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設		要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護5 (名)		○	
問2-2-8	一部	介護老人保健施設	介護老人保健施設		要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護5 (名)		○	
問2-2-9	一部	病院・診療所など (介護保険適用)	病院・診療所など (介護保険適用)		要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護5 (名)		○	
問2-2-10	一部	病院・診療所など (医療保険適用)	病院・診療所など (医療保険適用)		要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護5 (名)		○	
問2-2-11	一部	介護医療院	介護医療院		要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護5 (名)		○	
問2-2-12	一部	その他	その他		要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護5 (名)		○	
問2-3	一部	退所後の状況	「令和3年●月1日から令和4年●月31日までの1年間における入所者全員」の退所後の状況について教えてください	記述	※表形式		○	
問2-3-1	一部	居宅	居宅		要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護5 (名)		○	
問2-3-2	一部	ケアハウス・軽費老人ホーム	ケアハウス・軽費老人ホーム		要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護5 (名)		○	
問2-3-3	一部	有料老人ホーム	有料老人ホーム		要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護5 (名)		○	
問2-3-4	一部	養護老人ホーム	養護老人ホーム		要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護5 (名)		○	
問2-3-5	一部	認知症高齢者グループホーム	認知症高齢者グループホーム		要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護5 (名)		○	
問2-3-6	一部	サービス付き高齢者向け住宅	サービス付き高齢者向け住宅		要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護5 (名)		○	
問2-3-7	一部	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設		要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護5 (名)		○	
問2-3-8	一部	介護老人保健施設	介護老人保健施設		要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護5 (名)		○	
問2-3-9	一部	病院・診療所など (介護保険適用)	病院・診療所など (介護保険適用)		要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護5 (名)		○	
問2-3-10	一部	病院・診療所など (医療保険適用)	病院・診療所など (医療保険適用)		要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護5 (名)		○	
問2-3-11	一部	介護医療院	介護医療院		要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護5 (名)		○	
問2-3-12	一部	死亡	死亡		要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護5 (名)		○	
問2-3-13	一部	その他	その他		要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護5 (名)		○	
問2-4	一部	看取り経験	余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア (看取り) に関する経験がありますか		ある ない		○	
問2-5	一部	看取りの方針	ターミナルケア (看取り) についてどのように考えていますか		現時点では、事業所としての方針を明確にしている 利用者の看取りまでは想定していない 制度上一定の条件を整えば、看取りの段階まで援助していきたい 現状でも、条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上 介護職員が行える医療行為の範囲の拡大 本人の希望の確認と家族の協力の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関 その他 (具体的に)		○	
問2-6	一部	看取りのための条件	【問2-5で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】 ターミナルケア (看取り) を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか	複数	ほかの入居者・利用者 (家族) の理解 訪問診療に応じてくれる医師との関わり ほかの介護サービス (訪問看護を除く) の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関 その他 (具体的に)		○	○
3 施設の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域 (町内会や民生委員など) との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他 (具体的に) 特の問題はない		○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由は何ですか。以下の記載例を参考に、具体的な理由や状況をお書きください	記述	(記載例) 基準に定められている職員数 (看護・介護) では安全な体制が築けないことから、基準以上の職員数を必要としている		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください	記述			○	
問3-2		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対応 その他 (具体的に) 特に行っていない		○	
問3-3-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他 (具体的に)		○	
問3-3-2		解決できない問題	【問3-3-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-4	一部	夜間勤務体制	夜間の勤務体制 (夜勤職員の配置) について教えてください		基準どりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-5	一部	夜間の人員体制	夜間の人員体制について、ご意見などを自由に書きます	記述			○	
問3-6-1		災害への備え	災害発生時の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画 (BCP) の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他 (具体的に)		○	
問3-6-2		災害時の地域との協力体制	【問3-6-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中 今後話し合う予定 その他 (具体的に) 特になっていない			☆
問3-6-3	一部	災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている 状況を整えば受け入れ可能 受け入れできない	部会意見により対象整理 (①～④・⑥～⑩削除)		☆
問3-6-4		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他 (具体的に)		○	
問3-6-5	一部	災害で困ったこと	災害 (主に北海道胆振東部地震) 発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡 利用者 (またはその家族) との連絡 地域住民との協力 備蓄・備品の不足 その他 (具体的に)		○	
問3-7-1		感染症への備え	感染症発生時の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画 (BCP) の策定 衛生用品や個人用防護具 (PPE) の確保 検査キットの確保 定期的な換気 (簡易除圧装置の設置を含む) 感染症対応を相談できる医療機関の確保 他施設などからの応援体制の確保 施設内療養のための環境整備 家族と入居者の面会方法の工夫 その他 (具体的に)	部会意見により対象整理 (①～⑩と分離) ・選択肢追加		☆

R4介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設調査

○ R1から継続
× 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
★ 新規

● 指標
○ 現状分析
◎ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問3-7-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画 (BCP)の策定 衛生用品や個人用防護具 (PPE)の確保 検査キットの確保 職員の確保 施設内療養のための環境整備 その他 (具体的に)	部会意見により対象整理 (①~⑧と分離)、設問修正、回答形式変更、選択肢追加	☆	○
問3-7-3	全部	感染症対策が難しいと感じる理由	感染症発生時における対策が難しいと感じる理由は何ですか	複数	ノウハウがない 人材が足りない 資金がない その他 (具体的に)	部会意見により新規追加	☆	○
問3-7-4		感染症で困っていること	感染症 (主に新型コロナウイルス感染症)発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具 (PPE)の不足 検査キットの不足 職員の不足 利用者の減少 利用者家族とのコミュニケーション 対応方法がわからない その他 (具体的に)	部会意見により選択肢追加	☆	○
問3-8	一部	利用者と地域がつながる工夫	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	地域行事 (盆踊り、花見、敬老会など)に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他 (具体的に) 特に何も行っていない		○	
4 職員への対応について								
		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間の採用および定着状況はそれぞれいかがですか	※表形式			×	○
	一部	採用状況	常勤職員	計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない			×	○
	一部	採用状況	非常勤職員				×	○
	一部	定着状況	常勤職員	良い 比較的良好い あまり良くない 良くない			×	○
	一部	定着状況	非常勤職員				×	○
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間の採用の採用状況と採用・離職の人数、定着状況をそれぞれ教えてください	※表形式		部会意見により既存設問を継続 (新規項目と統合)	☆	○
問4-1-1-ア-A	一部	採用状況、採用・離職人数	常勤職員	計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない		部会意見により既存設問を継続 (新規項目と統合)	☆	○
問4-1-1-ア-B	一部	採用状況、採用・離職人数	非常勤職員	採用人数 (人) 離職人数 (人)		部会意見により既存設問を継続 (新規項目と統合)	☆	○
問4-1-1-イ-A	一部	定着状況	常勤職員	良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		部会意見により既存設問を継続	○	○
問4-1-1-イ-B	一部	定着状況	非常勤職員				○	○
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何か (3つ以内)	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他 (具体的に)		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数		記述	職員数 (常勤換算) (名)		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。 ※「2」の場合は ()内に人数及びその理由	複数	現在の職員数で十分である さらに職員が必要 (名) 必要理由 ()		○	
問4-2		過去1年間の離職理由	過去1年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか (3つ以内)	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他 (具体的に) 過去1年以内の離職はなかった 基本給以外の手当を支給している 健康診断等 (定期健康診断以外)を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防対策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他 (具体的に) 特にない		○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他 (具体的に)	部会意見により選択肢追加	○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報に関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他 (具体的に) 何も行っていない	部会意見により選択肢追加	○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報に関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他 (具体的に)	部会意見により選択肢追加	○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか	複数	している (具体的に) していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他 (具体的に)		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報に関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他 (具体的に)	部会意見により選択肢追加	○	○
5 介護支援専門員の意見について								
問5	一部	事業所の過不足	介護 (予防) サービスの現状において、事業所の過不足についてどのように感じていますか	※表形式			○	
問5-5-1	一部	訪問介護	訪問介護	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			○	
問5-5-2	一部	訪問入浴介護	訪問入浴介護	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			○	
問5-5-3	一部	訪問看護	訪問看護	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			○	
問5-5-4	一部	訪問リハビリテーション	訪問リハビリテーション	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			○	
問5-5-5	一部	居宅療養管理指導	居宅療養管理指導	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			○	
問5-5-6	一部	通所介護	通所介護	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			○	
問5-5-7	一部	通所リハビリテーション	通所リハビリテーション	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			○	
問5-5-8	一部	短期入所生活介護	短期入所生活介護	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			○	
問5-5-9	一部	短期入所療養介護	短期入所療養介護	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			○	
問5-5-10	一部	特定施設入居者生活介護	特定施設入居者生活介護	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			○	
問5-5-11	一部	福祉用具貸与	福祉用具貸与	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			○	
問5-5-12	一部	特定福祉用具販売	特定福祉用具販売	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			○	
問5-5-13	一部	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			○	
問5-5-14	一部	介護老人保健施設	介護老人保健施設	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			○	
問5-5-15	一部	介護療養型医療施設	介護療養型医療施設	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			○	
問5-5-16	一部	介護医療院	介護医療院	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			○	
問5-5-17	一部	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			○	
問5-5-18	一部	夜間対応型訪問介護	夜間対応型訪問介護	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			○	
問5-5-19	一部	地域密着型通所介護	地域密着型通所介護	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			○	
問5-5-20	一部	認知症対応型通所介護	認知症対応型通所介護	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			○	
問5-5-21	一部	小規模多機能型居宅介護	小規模多機能型居宅介護	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			○	
問5-5-22	一部	認知症対応型共同生活介護	認知症対応型共同生活介護	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			○	
問5-5-23	一部	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型特定施設入居者生活介護	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			○	
問5-5-24	一部	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			○	
問5-5-25	一部	看護小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			○	
問5-5-26	一部	居宅介護支援	居宅介護支援	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			○	
問5-5-27	一部	訪問型サービス (訪問介護相当型)	訪問型サービス (訪問介護相当型)	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			○	
問5-5-28	一部	通所型サービス (通所介護相当型)	通所型サービス (通所介護相当型)	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			○	
問5-5-29	一部	通所型サービス (時間短縮型)	通所型サービス (時間短縮型)	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			○	
6 自由記載								
問6		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

R4介護老人保健施設調査

○ R1から継続
× 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
☆ 新規

● 指標
○ 現状分析
◎ 両方

設問No	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1 事業所について								
問1-1	一部		施設的经营形態について教えてください		医療法人 社会福祉法人 その他(具体的に)		○	
問1-2	一部		施設の所在地について教えてください		中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部		併設事業の有無		従来型 一部ユニット型 ユニット型		○	
問1-4	一部	併設事業の有無	併設する介護保険サービス事業の有無について教えてください		ある ない		○	
問1-5	一部	併設事業の提供サービス	【問1-4で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください ※「27」～「29」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援(介護予防ケアマネジメント) 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護療養型医療施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス(訪問介護相当型)※ 通所型サービス(通所介護相当型)※ 通所型サービス(時間短縮型)※	(調査票のあて先となる事業者のサービスを、選択肢から除く)	○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	事業所(施設)の定員、入所者の状況	令和4年●月1日現在における、事業所(施設)の定員および入所(入居)者の状況についてお答えください(短期入所生活介護分を除く)	記述	※表形式		○	
問2-1-1	一部	定員	定員		全体(人)		○	
問2-1-2	一部	ユニット数	ユニット数		全体(ユニット)		○	
問2-1-3	一部	入所(入居)者数	入所(入居)者数合計		全体(名)うち、札幌市外の介護保険被保険者(名)		○	
	要介護1			全体(名)うち、札幌市外の介護保険被保険者(名)		○		
	要介護2			全体(名)うち、札幌市外の介護保険被保険者(名)		○		
	要介護3			全体(名)うち、札幌市外の介護保険被保険者(名)		○		
	要介護4			全体(名)うち、札幌市外の介護保険被保険者(名)		○		
問2-2	一部	入所前の状況	「令和3年●月1日から令和4年●月31日までの1年間における入所者全員」の入所前の状況について教えてください	記述	※表形式		○	
問2-2-1	一部	居宅	居宅		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-2-2	一部	ケアハウス・軽費老人ホーム	ケアハウス・軽費老人ホーム		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-2-3	一部	有料老人ホーム	有料老人ホーム		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-2-4	一部	養護老人ホーム	養護老人ホーム		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-2-5	一部	認知症高齢者グループホーム	認知症高齢者グループホーム		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-2-6	一部	サービス付き高齢者向け住宅	サービス付き高齢者向け住宅		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-2-7	一部	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-2-8	一部	介護老人保健施設	介護老人保健施設		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-2-9	一部	病院・診療所など(介護保険適用)	病院・診療所など(介護保険適用)		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-2-10	一部	病院・診療所など(医療保険適用)	病院・診療所など(医療保険適用)		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-2-11	一部	介護医療院	介護医療院		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-2-12	一部	その他	その他		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3	一部	退所後の状況	「令和3年●月1日から令和4年●月31日までの1年間における入所者全員」の退所後の状況について教えてください	記述	※表形式		○	
問2-3-1	一部	居宅	居宅		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-2	一部	ケアハウス・軽費老人ホーム	ケアハウス・軽費老人ホーム		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-3	一部	有料老人ホーム	有料老人ホーム		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-4	一部	養護老人ホーム	養護老人ホーム		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-5	一部	認知症高齢者グループホーム	認知症高齢者グループホーム		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-6	一部	サービス付き高齢者向け住宅	サービス付き高齢者向け住宅		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-7	一部	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-8	一部	介護老人保健施設	介護老人保健施設		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-9	一部	病院・診療所など(介護保険適用)	病院・診療所など(介護保険適用)		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-10	一部	病院・診療所など(医療保険適用)	病院・診療所など(医療保険適用)		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-11	一部	介護医療院	介護医療院		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-12	一部	死亡	死亡		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-13	一部	その他	その他		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-4	一部	看取り経験	余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア(看取り)に取り組んだ経験がありますか		ある ない		○	
問2-5	一部	看取りの方針	ターミナルケア(看取り)についてどのように考えていますか		現時点では、事業所としての方針を明確にしていない 利用者の看取りまでは想定していない 制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい 現状でも、条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上 介護職員が行える医療行為の範囲の拡大 本人の希望の確認と家族の協力の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関 その他(具体的に)		○	
問2-6	一部	看取るための条件	【問2-5で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】 ターミナルケア(看取り)を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか	複数	ほかの入居者・利用者(家族)の理解 訪問診療に応じてくれる医師との関わり ほかの介護サービス(訪問看護を除く)の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関 その他(具体的に)		○	○
3 施設の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない		○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述	(記載例) 基準に定められている職員数(看護・介護)では安全な体制が築けないことから、基準以上の職員数を必要としている		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください	記述			○	
問3-2		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンパレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他(具体的に) 特に何も行ってない		○	
問3-3-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他(具体的に)		○	
問3-3-2		解決できない問題	【問3-3-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-4	一部	夜間勤務体制	夜間の勤務体制(夜勤職員の配置)について教えてください		基準どおりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-5	一部	夜間の人員体制	夜間の人員体制について、ご意見を自由に書きください	記述			○	
問3-6-1		災害への備え	災害発生時の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他(具体的に)		○	
問3-6-2		災害時の地域との協力体制	【問3-6-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中 今後話し合う予定 その他(具体的に) 特に考えていない			☆
問3-6-3	一部	災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている 状況が整えば受入ができる 受入はできない	部会意見により対象整理(①～④・⑥～前削除)		☆
問3-6-4		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)		○	
問3-6-5	一部	災害で困ったこと	災害(主に北海道胆振東部地震)発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡 利用者(またはその家族)との連絡 地域住民との協力 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)		○	
問3-7-1		感染症への備え	感染症発生時の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 衛生用品や個人用防護具(PPE)の確保 検査キットの確保 定期的な換気(簡易除圧装置の設置を含む) 感染症対応を相談できる医療機関の確保 他施設などからの応援体制の確保 施設内療養のための環境整備 家族と入居者の面会方法の工夫 その他(具体的に)	部会意見により対象整理(①～⑩と分離)、選択肢追加		☆

R4介護老人保健施設調査

○ R1から継続
× 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
☆ 新規

● 指標
○ 現状分析
◎ 両方

設問No	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問3-7-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画 (BCP) の策定 衛生用品や個人用防護具 (PPE) の確保 検査キットの確保 職員の確保 施設内療養のための環境整備 その他 (具体的に)	部会意見により対象整理 (①~③と分離)、設問修正、回答形式変更、選択肢追加	☆	
問3-7-3	全部	感染症対策が難しいと感じる理由	感染症発生時における対策が難しいと感じる理由は何ですか	複数	ノウハウがない 人材が足りない 資金がない その他 (具体的に)	部会意見により新規追加	☆	
問3-7-4		感染症で困っていること	感染症 (主に新型コロナウイルス感染症) 発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具 (PPE) の不足 検査キットの不足 職員の不足 利用者の減少 利用者家族とのコミュニケーション 対応方法がわからない その他 (具体的に)	部会意見により選択肢追加	☆	
問3-8	一部	利用者と地域がつながる工夫	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	地域行事 (盆踊り、花見、敬老会など) に参加するようになっている 幼稚園、小学生などの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他 (具体的に) 特にも何も行っていない		○	
4 職員への対応について								
	一部	過去1年間の採用、定着状況	過去1年間の採用、定着状況	※表形式			×	
	一部	採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない		×	◎
	一部	採用状況	非常勤職員				×	○
	一部	定着状況	常勤職員		良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		×	○
	一部	定着状況	非常勤職員				×	○
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間の採用、定着状況	※表形式		部会意見により既存設問を継続 (新規項目と統合)	☆	
問4-1-1-A	一部	採用状況、採用・離職人数	常勤職員	記述	計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない	部会意見により既存設問を継続 (新規項目と統合)	☆	◎
問4-1-1-B	一部	採用状況、採用・離職人数	非常勤職員		採用人数 (人) 離職人数 (人)	部会意見により既存設問を継続 (新規項目と統合)	☆	○
問4-1-1-A	一部	定着状況	常勤職員		良い 比較的良好い あまり良くない 良くない	部会意見により既存設問を継続		○
問4-1-1-B	一部	定着状況	非常勤職員					○
問4-1-2		効果があった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何か (3つ以内)	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他 (具体的に)		○	
問4-1-3-A		サービス提供職員数	職員数を提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。	記述	職員数 (常勤換算) (名)		○	
問4-1-3-B		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。 ※「2」の場合は () 内に人数及びその理由		現在の職員数で十分である さらに職員が必要 (名) 必要理由 ()		○	
問4-2		過去1年間の離職理由	過去1年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか (3つ以内)	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他 (具体的に) 過去1年以内の離職はなかった 基本給以外の手当を支給している 健康診断等 (定期健康診断以外) を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他 (具体的に) 特になし	部会意見により選択肢追加	○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 他 (具体的に)	部会意見により選択肢追加	○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他 (具体的に)		☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか	複数	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他 (具体的に)	部会意見により選択肢追加	○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか	複数	している していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等へ参加させない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他 (具体的に)		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他 (具体的に)	部会意見により選択肢追加	○	○
5 介護支援専門員の意見について								
問5	一部	事業所の過不足	介護 (予防) サービスの現状において、事業所の過不足についてどのように感じていますか	※表形式			○	
問5-1	一部	訪問介護	訪問介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-2	一部	訪問入浴介護	訪問入浴介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-3	一部	訪問看護	訪問看護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-4	一部	訪問リハビリテーション	訪問リハビリテーション		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-5	一部	居宅療養管理指導	居宅療養管理指導		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-6	一部	通所介護	通所介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-7	一部	通所リハビリテーション	通所リハビリテーション		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-8	一部	短期入所生活介護	短期入所生活介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-9	一部	短期入所療養介護	短期入所療養介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-10	一部	特定施設入居者生活介護	特定施設入居者生活介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-11	一部	福祉用具貸与	福祉用具貸与		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-12	一部	特定福祉用具販売	特定福祉用具販売		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-13	一部	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-14	一部	介護老人保健施設	介護老人保健施設		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-15	一部	介護療養型医療施設	介護療養型医療施設		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-16	一部	介護医療院	介護医療院		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-17	一部	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-18	一部	夜間対応型訪問介護	夜間対応型訪問介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-19	一部	地域密着型通所介護	地域密着型通所介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-20	一部	認知症対応型通所介護	認知症対応型通所介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-21	一部	小規模多機能型居宅介護	小規模多機能型居宅介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-22	一部	認知症対応型共同生活介護	認知症対応型共同生活介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-23	一部	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型特定施設入居者生活介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-24	一部	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-25	一部	看護小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-26	一部	居宅介護支援	居宅介護支援		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-27	一部	訪問型サービス (訪問介護相当型)	訪問型サービス (訪問介護相当型)		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-28	一部	通所型サービス (通所介護相当型)	通所型サービス (通所介護相当型)		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-29	一部	通所型サービス (時間短縮型)	通所型サービス (時間短縮型)		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
6 自由記載								
問6		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

R4介護療養型医療施設調査

○ R1から継続
× 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
☆ 新規

● 指標
○ 現状分析
◎ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	経営形態	施設の経営形態について教えてください		医療法人 社会福祉法人 財団法人 その他(具体的に)		○	
問1-2		所在地	施設の所在地について教えてください		中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	単独	病床数	貴施設を運営している医療施設の種類ごとの病床数を教えてください	記述	※表形式		○	
問2-1-1	単独	病院	療養病床		病床数(介護保険適用(床) 医療保険適用(床))		○	
	単独		一般病床		病床数(介護保険適用(床) 医療保険適用(床))		○	
	単独		精神病床		病床数(介護保険適用(床) 医療保険適用(床))		○	
	単独		結核病床		病床数(介護保険適用(床) 医療保険適用(床))		○	
問2-1-2	単独	診療所	療養病床 一般病床		病床数(介護保険適用(床) 医療保険適用(床)) 病床数(介護保険適用(床) 医療保険適用(床))		○	
問2-2	一部	関連施設	貴施設の関連施設にはどのような施設がありますか	複数	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 介護老人保健施設 病院 診療所 介護医療院 認知症対応型共同生活介護(グループホーム) その他(具体的に) 関連施設はない		○	
問2-3	一部	入所前の状況	「令和3年●月1日から令和4年●月31日までの1年間における入所者全員」の入所前の状況について教えてください	記述	※表形式		○	
問2-3-1	一部	居宅	居宅		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-2	一部	ケアハウス・軽費老人ホーム	ケアハウス・軽費老人ホーム		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-3	一部	有料老人ホーム	有料老人ホーム		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-4	一部	養護老人ホーム	養護老人ホーム		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-5	一部	認知症高齢者グループホーム	認知症高齢者グループホーム		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-6	一部	サービス付き高齢者向け住宅	サービス付き高齢者向け住宅		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-7	一部	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-8	一部	介護老人保健施設	介護老人保健施設		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-9	一部	病院・診療所など(介護保険適用)	病院・診療所など(介護保険適用)		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-10	一部	病院・診療所など(医療保険適用)	病院・診療所など(医療保険適用)		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-11	一部	介護医療院	介護医療院		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-12	一部	その他	その他		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-4	一部	退所後の状況	「令和3年●月1日から令和4年●月31日までの1年間における入所者全員」の退所後の状況について教えてください	記述	※表形式		○	
問2-4-1	一部	居宅	居宅		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-4-2	一部	ケアハウス・軽費老人ホーム	ケアハウス・軽費老人ホーム		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-4-3	一部	有料老人ホーム	有料老人ホーム		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-4-4	一部	養護老人ホーム	養護老人ホーム		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-4-5	一部	認知症高齢者グループホーム	認知症高齢者グループホーム		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-4-6	一部	サービス付き高齢者向け住宅	サービス付き高齢者向け住宅		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-4-7	一部	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-4-8	一部	介護老人保健施設	介護老人保健施設		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-4-9	一部	病院・診療所など(介護保険適用)	病院・診療所など(介護保険適用)		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-4-10	一部	病院・診療所など(医療保険適用)	病院・診療所など(医療保険適用)		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-4-11	一部	介護医療院	介護医療院		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-4-12	一部	死亡	死亡		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-4-13	一部	その他	その他		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
3 医療施設の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない		○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】その理由は何か。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述	(記載例) 安全対策・感染対策・防災対策などの一定の基準を求められ、ハード・ソフトとも経費がかかってしまう		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】その理由は何か。具体的にお書きください	記述			○	
問3-2		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他(具体的に) 特に何も行ってない		○	
問3-3-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他(具体的に)		○	
問3-3-2		解決できない問題	【問3-3-1で「解決できない場合がある」の方のみ】解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-4	一部	夜間勤務体制	夜間の勤務体制(夜勤職員の配置)について教えてください	記述	基準どおりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-5	一部	夜間の人員体制	夜間の人員体制について、ご意見などを自由にお書きください	記述			○	
問3-6-1		災害への備え	災害発生時の備えとして、既に取り組んでいるものは何か	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他(具体的に)		○	
問3-6-2		災害時の地域との協力体制	【問3-6-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	記述	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他(具体的に) 特に考えていない		☆	
問3-6-3	一部	災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか	記述	すでに受入体制が整っている 状況が整えば受入ができる 受入はできない	部会意見により対象整理(①~④・⑥~⑩削除)	☆	
問3-6-4		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何か	記述	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)		○	
問3-6-5	一部	災害で困ったこと	災害(主に北海道胆振東部地震)発生時に、実際に困ったことは何か	複数	職員の参集・連絡 利用者(またはその家族)との連絡 地域住民との協力 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)		○	
問3-7-1		感染症への備え	感染症発生時の備えとして、既に取り組んでいるものは何か	複数	定期的な換気(簡易除圧装置の設置を含む) 感染症対応を相対できる医療機関の確保 他施設などからの応援体制の確保 施設内療養のための環境整備 家族と同居者の面会方法の工夫 その他(具体的に)	部会意見により対象整理(①~⑩と分離)、選択肢追加	☆	
問3-7-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何か	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 衛生用品や個人用防護具(PPE)の確保 検査キットの確保 職員の確保 施設内療養のための環境整備 その他(具体的に)	部会意見により対象整理(①~⑩と分離)、設問修正、回答形式変更、選択肢追加	☆	
問3-7-3	全部	感染症対策が難しいと感じる理由	感染症発生時における対策が難しいと感じる理由は何か	複数	ノウハウがない 人材が足りない 資金がない その他(具体的に)	部会意見により新規追加	☆	
問3-7-4		感染症で困っていること	感染症(主に新型コロナウイルス感染症)発生に伴い、実際に困っていることは何か	複数	衛生用品や個人用防護具(PPE)の不足 検査キットの不足 職員の不足 利用者の減少 利用者家族とのコミュニケーション 対応方法がわからない その他(具体的に)	部会意見により選択肢追加	☆	
4 職員への対応について								

R4介護療養型医療施設調査

○ R1から継続
× 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
☆ 新規

● 指標
○ 現状分析
◎ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか	※表形式			×	◎
	一部	採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない		×	◎
	一部	採用状況	非常勤職員				×	◎
	一部	定着状況	常勤職員		良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		×	◎
	一部	定着状況	非常勤職員				×	◎
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・離職の人数、定着状況をそれぞれ教えてください	※表形式		部会意見により既存設問を継続(新規項目と統合)	☆	
問4-1-1-ア-A	一部	採用状況、採用・離職人数	常勤職員	記述	計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない	部会意見により既存設問を継続(新規項目と統合)	☆	◎
問4-1-1-ア-B	一部	採用状況、採用・離職人数	非常勤職員		採用人数(人) 離職人数(人)	部会意見により既存設問を継続(新規項目と統合)	☆	◎
問4-1-1-イ-A	一部	定着状況	常勤職員		良い 比較的良好い あまり良くない 良くない	部会意見により既存設問を継続		◎
問4-1-1-イ-B	一部	定着状況	非常勤職員					◎
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何か(3つ以内)	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他(具体的に)		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください	記述	職員数(常勤換算)(名)		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。※「2.」の場合は()内に人数及びその理由		現状の職員数で十分である さらに職員が必要(名)必要理由()		○	
問4-2		過去1年間の離職理由	過去1年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか(3つ以内)	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他(具体的に) 過去1年以内の離職はなかった		○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等(定期健康診断以外)を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他(具体的に) 特になし	部会意見により選択肢追加	○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他(具体的に)		☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に) 何も行っていない	部会意見により選択肢追加	○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他(具体的に)		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に)	部会意見により選択肢追加	○	○
5 介護支援専門員の意見について								
問5	一部	事業所の過不足	介護(予防)サービスの現状において、事業所の過不足についてどのように感じていますか	※表形式			○	
問5-1	一部	訪問介護	訪問介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-2	一部	訪問入浴介護	訪問入浴介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-3	一部	訪問看護	訪問看護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-4	一部	訪問リハビリテーション	訪問リハビリテーション		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-5	一部	居宅療養管理指導	居宅療養管理指導		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-6	一部	通所介護	通所介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-7	一部	通所リハビリテーション	通所リハビリテーション		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-8	一部	短期入所生活介護	短期入所生活介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-9	一部	短期入所療養介護	短期入所療養介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-10	一部	特定施設入居者生活介護	特定施設入居者生活介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-11	一部	福祉用具貸与	福祉用具貸与		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-12	一部	特定福祉用具販売	特定福祉用具販売		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-13	一部	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-14	一部	介護老人保健施設	介護老人保健施設		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-15	一部	介護療養型医療施設	介護療養型医療施設		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-16	一部	介護医療院	介護医療院		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-17	一部	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-18	一部	夜間対応型訪問介護	夜間対応型訪問介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-19	一部	地域密着型通所介護	地域密着型通所介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-20	一部	認知症対応型通所介護	認知症対応型通所介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-21	一部	小規模多機能型居宅介護	小規模多機能型居宅介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-22	一部	認知症対応型共同生活介護	認知症対応型共同生活介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-23	一部	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型特定施設入居者生活介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-24	一部	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-25	一部	看護小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-26	一部	居宅介護支援	居宅介護支援		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-27	一部	訪問型サービス(訪問介護相当型)	訪問型サービス(訪問介護相当型)		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-28	一部	通所型サービス(通所介護相当型)	通所型サービス(通所介護相当型)		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-29	一部	通所型サービス(時間短縮型)	通所型サービス(時間短縮型)		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
6 自由記載								
問6		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

R4介護医療院調査

○ R1から継続
× 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
☆ 新規

● 指標
○ 現状分析
◎ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	経営形態	施設の経営形態について教えてください	複数	医療法人 社会福祉法人 財団法人 その他(具体的に)		○	
問1-2		所在地	施設の所在地について教えてください	記述	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	単独	運営形態	施設の運営形態について教えてください	記述	I型(床) II型(床)		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	関連施設	貴施設の関連施設にはどのような施設がありますか	複数	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 介護老人保健施設 病院 診療所 介護医療院 認知症対応型共同生活介護(グループホーム) その他(具体的に) 関連施設はない		○	
問2-2	一部	入所前の状況	「令和3年●月1日から令和4年●月31日までの1年間における入所者全員」の入所前の状況について教えてください	記述	※表形式		○	
問2-2-1	一部	居宅	居宅		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-2-2	一部	ケアハウス・軽費老人ホーム	ケアハウス・軽費老人ホーム		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-2-3	一部	有料老人ホーム	有料老人ホーム		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-2-4	一部	養護老人ホーム	養護老人ホーム		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-2-5	一部	認知症高齢者グループホーム	認知症高齢者グループホーム		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-2-6	一部	サービス付き高齢者向け住宅	サービス付き高齢者向け住宅		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-2-7	一部	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-2-8	一部	介護老人保健施設	介護老人保健施設		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-2-9	一部	病院・診療所など(介護保険適用)	病院・診療所など(介護保険適用)		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-2-10	一部	病院・診療所など(医療保険適用)	病院・診療所など(医療保険適用)		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-2-11	一部	介護医療院	介護医療院		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-2-12	一部	その他	その他		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3	一部	退所後の状況	「令和3年●月1日から令和4年●月31日までの1年間における入所者全員」の退所後の状況について教えてください	記述	※表形式		○	
問2-3-1	一部	居宅	居宅		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-2	一部	ケアハウス・軽費老人ホーム	ケアハウス・軽費老人ホーム		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-3	一部	有料老人ホーム	有料老人ホーム		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-4	一部	養護老人ホーム	養護老人ホーム		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-5	一部	認知症高齢者グループホーム	認知症高齢者グループホーム		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-6	一部	サービス付き高齢者向け住宅	サービス付き高齢者向け住宅		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-7	一部	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-8	一部	介護老人保健施設	介護老人保健施設		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-9	一部	病院・診療所など(介護保険適用)	病院・診療所など(介護保険適用)		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-10	一部	病院・診療所など(医療保険適用)	病院・診療所など(医療保険適用)		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-11	一部	介護医療院	介護医療院		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-12	一部	死亡	死亡		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
問2-3-13	一部	その他	その他		要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護5(名)		○	
3 医療施設の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない		○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述	(記載例) 安全対策・感染対策・防災対策などの一定の基準を求められ、ハード・ソフトとも経費がかかってしまう		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】その理由は何ですか。具体的にお書きください	記述			○	
問3-2		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対応 その他(具体的に) 特に何も行っていない		○	
問3-3-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他(具体的に)		○	
問3-3-2		解決できない問題	【問3-3-1で「解決できない場合がある」の方のみ】解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-4	一部	夜間勤務体制	夜間の勤務体制(夜勤職員の配置)について教えてください	記述	基準どおりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-5	一部	夜間の人員体制	夜間の人員体制について、ご意見などをご自由にお書きください	記述			○	
問3-6-1		災害への備え	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他(具体的に)		○	
問3-6-2		災害時の地域との協力体制	【問3-6-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	記述	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他(具体的に) 特に考えていない		☆	
問3-6-3	一部	災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか	記述	すでに受入体制が整っている 状況が整えば受入ができる 受入はできない	部会意見により対象整理(①~④・⑥~⑩削除)	☆	
問3-6-4		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	記述	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)		○	
問3-6-5	一部	災害で困ったこと	災害(主に北海道胆振東部地震)発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡 利用者(またはその家族)との連絡 地域住民との協力 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)		○	
問3-7-1		感染症への備え	感染症発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 衛生用品や個人用防護具(PPE)の確保 検査キットの確保 定期的な換気(簡易陰圧装置の設置を含む) 感染症対応を相談できる医療機関の確保 他施設などからの応援体制の確保 施設内療養のための環境整備 家族と入居者の面会方法の工夫 その他(具体的に)	部会意見により対象整理(①~⑭と分離)、選択肢追加	☆	
問3-7-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 衛生用品や個人用防護具(PPE)の確保 検査キットの確保 職員の確保 施設内療養のための環境整備 その他(具体的に)	部会意見により対象整理(①~⑭と分離)、設問修正、回答形式変更、選択肢追加	☆	
問3-7-3	全部	感染症対策が難しいと感じる理由	感染症発生時における対策が難しいと感じる理由は何ですか	複数	ノウハウがない 人材が足りない 資金がない その他(具体的に)	部会意見により新規追加	☆	
問3-7-4		感染症で困っていること	感染症(主に新型コロナウイルス感染症)発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具(PPE)の不足 検査キットの不足 職員の不足 利用者の減少 利用者家族とのコミュニケーション 対応方法がわからない その他(具体的に)	部会意見により選択肢追加	☆	

R4介護医療院調査

○ R1から継続
× 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
☆ 新規

● 指標
○ 現状分析
◎ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
4 職員への対応について								
		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか	※表形式			×	
	一部	採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない		×	◎
	一部	採用状況	非常勤職員				×	○
	一部	定着状況	常勤職員		良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		×	○
	一部	定着状況	非常勤職員				×	○
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・離職の人数、定着状況をそれぞれ教えてください	※表形式		部会意見により既存設問を継続(新規項目と統合)	☆	
問4-1-1-ア-A	一部	採用状況、採用・離職人数	常勤職員	記述	計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない	部会意見により既存設問を継続(新規項目と統合)	☆	◎
問4-1-1-ア-B	一部		非常勤職員		採用人数()人 離職人数()人	部会意見により既存設問を継続(新規項目と統合)	☆	○
問4-1-1-イ-A	一部	定着状況	常勤職員		良い 比較的良好い あまり良くない 良くない	部会意見により既存設問を継続	☆	○
問4-1-1-イ-B	一部		非常勤職員			部会意見により既存設問を継続	☆	○
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法はありますか(3つ以内)	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他(具体的に)		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数		記述	職員数(常勤換算)()名		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。 ※「2.」の場合は()内に人数及びその理由		現状の職員数で十分である さらに職員が必要()名 必要⇒理由()		○	
問4-2		過去1年間の離職理由	過去1年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか(3つ以内)	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他(具体的に) 過去1年以内の離職はなかった		○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等(定期健康診断以外)を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマー・ハラスメントへの対応策をとっている その他(具体的に) 特になし	部会意見により選択肢追加	○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他(具体的に)		☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に) 何も行ってない	部会意見により選択肢追加	○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他(具体的に)		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に)	部会意見により選択肢追加	○	○
5 介護支援専門員の意見について								
問5	一部	事業所の過不足	介護(予防)サービスの現状において、事業所の過不足についてどのように感じていますか	※表形式			○	
問5-1	一部	訪問介護	訪問介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-2	一部	訪問入浴介護	訪問入浴介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-3	一部	訪問看護	訪問看護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-4	一部	訪問リハビリテーション	訪問リハビリテーション		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-5	一部	居宅療養管理指導	居宅療養管理指導		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-6	一部	通所介護	通所介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-7	一部	通所リハビリテーション	通所リハビリテーション		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-8	一部	短期入所生活介護	短期入所生活介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-9	一部	短期入所療養介護	短期入所療養介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-10	一部	特定施設入居者生活介護	特定施設入居者生活介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-11	一部	福祉用具貸与	福祉用具貸与		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-12	一部	特定福祉用具販売	特定福祉用具販売		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-13	一部	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-14	一部	介護老人保健施設	介護老人保健施設		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-15	一部	介護療養型医療施設	介護療養型医療施設		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-16	一部	介護医療院	介護医療院		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-17	一部	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-18	一部	夜間対応型訪問介護	夜間対応型訪問介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-19	一部	地域密着型通所介護	地域密着型通所介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-20	一部	認知症対応型通所介護	認知症対応型通所介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-21	一部	小規模多機能型居宅介護	小規模多機能型居宅介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-22	一部	認知症対応型共同生活介護	認知症対応型共同生活介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-23	一部	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型特定施設入居者生活介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-24	一部	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-25	一部	看護小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-26	一部	居宅介護支援	居宅介護支援		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-27	一部	訪問型サービス(訪問介護相当型)	訪問型サービス(訪問介護相当型)		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-28	一部	通所型サービス(通所介護相当型)	通所型サービス(通所介護相当型)		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
問5-29	一部	通所型サービス(時間短縮型)	通所型サービス(時間短縮型)		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない		○	
6 自由記載								
問6		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

R4養護老人ホーム、軽費老人ホーム、ケアハウス、有料老人ホーム（特定施設入居者生活介護）調査

○ R1から継続
× 廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆ 新規

● 指標
○ 現状分析
◎ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	経営形態	事業所の経営形態について教えてください		株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他（具体的に）		○	
問1-2	単独	施設種別	施設の種別について教えてください		養護老人ホーム 軽費老人ホーム（A型・B型） ケアハウス 有料老人ホーム（サービス付き高齢者向け住宅を含む）		○	
問1-3	単独	所在地	施設の所在地について教えてください		中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	単独	特定施設の指定の有無	介護保険法における「特定施設入居者生活介護」の事業所指定の状況について教えてください		指定を受けている 指定は受けていない		○	
問1-5	単独	特定施設への転換	【問1-4で「指定は受けていない」の方のみ】 現在の施設を特定施設入居者生活介護へ転換したい意向はありますか （有料老人ホームの場合は、現在は公募による新設の場合のみを認めています）		ある ない		☆	
問1-6	一部	併設事業の有無	併設する介護保険サービス事業の有無について教えてください		ある ない		○	
問1-7	一部	併設事業の提供サービス	【問1-6で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください ※「28.」～「30.」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援（介護予防ケアマネジメント） 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護療養型医療施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス（訪問介護相当型）※ 通所型サービス（通所介護相当型）※ 通所型サービス（時間短縮型）※	（調査票のあて先となる事業者のサービスを、選択肢から除く）	○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	事業所（施設）の定員、入所者の状況	令和4年●月1日現在における、事業所（施設）の定員および入所（入居）者の状況についてお答えください（短期入所生活介護分を除く）	記述	※表形式		○	
問2-1-1	一部	事業所（施設）の定員、入所者の状況	定員	定員	全体（ 人）		○	
	一部		入所（入居）者数合計	入所（入居）者数合計	全体（ 名） うち、札幌市の介護保険被保険者（ 名）		○	
	単独		自立	自立	全体（ 名） うち、札幌市の介護保険被保険者（ 名）		○	
	単独		要支援1	要支援1	【問1-4で「指定を受けている」の方】⇒うち、「特定施設入居者生活介護」利用者数（うち、外部サービス利用者数）（ 名（ 名）） 【問1-4で「指定は受けていない」の方】⇒うち、「外部事業者の居宅介護サービス」利用者数（ 名）		○	
	単独		要支援2	要支援2	【問1-4で「指定を受けている」の方】⇒うち、「特定施設入居者生活介護」利用者数（うち、外部サービス利用者数）（ 名（ 名）） 【問1-4で「指定は受けていない」の方】⇒うち、「外部事業者の居宅介護サービス」利用者数（ 名）		○	
	単独		要介護1	要介護1	【問1-4で「指定を受けている」の方】⇒うち、「特定施設入居者生活介護」利用者数（うち、外部サービス利用者数）（ 名（ 名）） 【問1-4で「指定は受けていない」の方】⇒うち、「外部事業者の居宅介護サービス」利用者数（ 名）		○	
問2-1-2	単独		入所（入居）者数	要介護2	【問1-4で「指定を受けている」の方】⇒うち、「特定施設入居者生活介護」利用者数（うち、外部サービス利用者数）（ 名（ 名）） 【問1-4で「指定は受けていない」の方】⇒うち、「外部事業者の居宅介護サービス」利用者数（ 名）		○	
	単独		要介護3	要介護3	【問1-4で「指定を受けている」の方】⇒うち、「特定施設入居者生活介護」利用者数（うち、外部サービス利用者数）（ 名（ 名）） 【問1-4で「指定は受けていない」の方】⇒うち、「外部事業者の居宅介護サービス」利用者数（ 名）		○	
	単独		要介護4	要介護4	【問1-4で「指定を受けている」の方】⇒うち、「特定施設入居者生活介護」利用者数（うち、外部サービス利用者数）（ 名（ 名）） 【問1-4で「指定は受けていない」の方】⇒うち、「外部事業者の居宅介護サービス」利用者数（ 名）		○	
	単独		要介護5	要介護5	【問1-4で「指定を受けている」の方】⇒うち、「特定施設入居者生活介護」利用者数（うち、外部サービス利用者数）（ 名（ 名）） 【問1-4で「指定は受けていない」の方】⇒うち、「外部事業者の居宅介護サービス」利用者数（ 名）		○	
問2-2	単独	予定時間以外の対応	【問2-1-2の「外部サービス利用者数」のうち訪問介護の利用がある方のみ】 予定時間以外の対応をどのようにされていますか		予定時間以外での対応を必要とする方はほとんどいない 住宅のサービスとして提供している（提供メニュー： ） その他（具体的に）		○	
問2-3	一部	看取り経験	余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験がありますか		ある ない		○	
問2-4	一部	看取りの方針	ターミナルケア（看取り）についてどのように考えていますか		現時点では、事業所としての方針を明確にしていない 利用者の看取りまでは想定していない 制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい 現状でも、条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している		○	
問2-5	一部	看取りのための条件	【問2-4で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】 ターミナルケア（看取り）を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか	複数	ほかの入居者・利用者（家族）の理解 訪問診療に応じてくれる医師との関わり ほかの介護サービス（訪問看護を除く）の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関 その他（具体的に）		○	○
3 施設の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に） 特には問題はない		○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述	（記載例）施設内で積極的にADL向上・リハビリテーション・レクリエーションや行事企画などに取り組み、要介護度が軽くなっても施設の評価につながらない		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください	記述			○	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量（需要）を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者へ説明できない その他（具体的に） 特には問題はない		○	
問3-3		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に） 特には何も行ってない		○	

R4養護老人ホーム、軽費老人ホーム、ケアハウス、有料老人ホーム（特定施設入居者生活介護）調査

○ R1から継続
× 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
☆ 新規

● 指標
○ 現状分析
◎ 両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問3-4-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他(具体的に)		○	
問3-4-2		解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-5	一部	夜間勤務体制	夜間の勤務体制(夜勤職員の配置)について教えてください		基準どおりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-6	一部	夜間の人員体制	夜間の人員体制について、ご意見などをご自由にお書きください	記述			○	
問3-7-1		災害への備え	災害発生時の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他(具体的に)		○	
問3-7-2		災害時の地域との協力体制	【問3-7-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中 今後話し合う予定 その他(具体的に) 特に考えていない		☆	
問3-7-3	一部	災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている 状況が整えば受入ができる 受入はできない	部会意見により対象整理 (①~④・⑥~⑩削除)	☆	
問3-7-4		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)		○	
問3-7-5	一部	災害で困ったこと	災害(主に北海道胆振東部地震)発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡 利用者(またはその家族)との連絡 地域住民との協力 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)	部会意見により対象整理	○	
問3-8-1		感染症への備え	感染症発生時の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	定期的な換気(簡易陰圧装置の設置を含む) 感染症対応を相談できる医療機関の確保 他施設などからの応援体制の確保 施設内療養のための環境整備 家族と入居者の面会方法の工夫 その他(具体的に)	部会意見により対象整理 (①~⑩と分離)、選択肢追加	☆	
問3-8-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 衛生用品や個人用防護具(PPE)の確保 検査キットの確保 職員の確保 施設内療養のための環境整備 その他(具体的に)	部会意見により対象整理 (①~⑩と分離)、設問修正、回答形式変更、選択肢追加	☆	
問3-8-3	全部	感染症対策が難しいと感じる理由	感染症発生時における対策が難しいと感じる理由は何ですか	複数	ノウハウがない 人材が足りない 資金がない その他(具体的に)	部会意見により新規追加	☆	
問3-8-4		感染症で困っていること	感染症(主に新型コロナウイルス感染症)発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具(PPE)の不足 検査キットの不足 職員の不足 利用者の減少 利用者家族とのコミュニケーション 対応方法がわからない その他(具体的に)	部会意見により選択肢追加	☆	
問3-9	一部	利用者と地域がつながる工夫	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事(盆踊り、花見、敬老会など)に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他(具体的に) 特に何も行ってない		○	
4 職員への対応について								
		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間の採用、定着状況		※表形式		×	
	一部	採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない		×	◎
	一部	定着状況	非常勤職員		良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		×	○
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間の採用、定着状況		※表形式	部会意見により既存設問を継続(新規項目と統合)	☆	
問4-1-1-ア-A	一部	採用状況、採用・離職人数	常勤職員	記述	計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない	部会意見により既存設問を継続(新規項目と統合)	☆	◎
問4-1-1-ア-B	一部	採用状況、採用・離職人数	非常勤職員		採用人数()人 離職人数()人	部会意見により既存設問を継続(新規項目と統合)	☆	○
問4-1-1-イ-A	一部	定着状況	常勤職員		良い 比較的良好い あまり良くない 良くない	部会意見により既存設問を継続	○	
問4-1-1-イ-B	一部	定着状況	非常勤職員		良い 比較的良好い あまり良くない 良くない	部会意見により既存設問を継続	○	
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は(3つ以内)	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他(具体的に)		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください	記述	職員数(常勤換算)()名		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。 ※「2.」の場合は()内に人数及びその理由		現状の職員数で十分である さらに職員が必要()名 必要⇒理由()		○	
問4-2		過去1年間の離職理由	過去1年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか(3つ以内)	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他(具体的に) 過去1年以内の離職はなかった		○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等(定期健康診断以外)を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他(具体的に) 特になし	部会意見により選択肢追加	○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他(具体的に)		☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報取扱いに関する研修 リハビリテーションに関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に) 何も行ってない	部会意見により選択肢追加	○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他(具体的に)		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報取扱いに関する研修 リハビリテーションに関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に)	部会意見により選択肢追加	○	○
5 自由記載								
問5		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

R4介護保険サービス提供事業者調査 (設置法人・団体のみ：25問)

○ R1から継続
 × 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
 ☆ 新規

● 指標
 ○ 現状分析
 ◎ 両方

設問No.	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1 設置法人・団体の形態について							
問1	経営形態	設置法人・団体の経営形態について教えてください		株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他(具体的に)		○	
2 サービスの提供状況等について							
問2	提供内容・事業所数	現在、札幌市内でどのような介護保険サービスを運営(提供)していますか。また、事業所数も併せて記入してください(※27~29は介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です)	複数	訪問介護() 訪問入浴介護() 訪問看護() 訪問リハビリテーション() 居宅療養管理指導() 通所介護() 通所リハビリテーション() 短期入所生活介護() 短期入所療養介護() 特定施設入居者生活介護() 福祉用具貸与() 特定福祉用具販売() 居宅介護支援() 介護予防支援() 介護老人福祉施設() 介護老人保健施設() 介護療養型医療施設() 介護医療院() 定期巡回・随時対応型訪問介護看護() 夜間対応型訪問介護() 地域密着型通所介護() 認知症対応型通所介護() 小規模多機能型居宅介護() 認知症対応型共同生活介護() 地域密着型特定施設入居者生活介護() 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護() 看護小規模多機能型居宅介護() 訪問型サービス(訪問介護相当型)* () 通所型サービス(通所介護相当型)* () 通所型サービス(時間短縮型)* ()		○	
3 事業の収支状況について							
問3-1	事業の収支状況(実績)	介護保険サービス事業の令和3年度実績における収支はどのような状況ですか。現在、札幌市内で提供しているサービス事業全体およびサービス種類別に教えてください ※同一サービス種類で複数の事業所を運営している場合は、それらの平均的な収支状況を教えてください		※表形式		○	
問3-1-A	令和3年度	サービス事業全体		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-1-A-1		訪問介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-1-A-2		訪問入浴介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-1-A-3		訪問看護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-1-A-4		訪問リハビリテーション		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-1-A-5		居宅療養管理指導		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-1-A-6		通所介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-1-A-7		通所リハビリテーション		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-1-A-8		短期入所生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-1-A-9		短期入所療養介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-1-A-10		特定施設入居者生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-1-A-11		福祉用具貸与		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-1-A-12		特定福祉用具販売		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-1-A-13		居宅介護支援		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-1-A-14		介護予防支援		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-1-A-15		介護老人福祉施設		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-1-A-16		介護老人保健施設		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-1-A-17		介護療養型医療施設		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-1-A-18		介護医療院		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-1-A-19		定期巡回・随時対応型訪問介護看護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-1-A-20		夜間対応型訪問介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-1-A-21		地域密着型通所介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-1-A-22		認知症対応型通所介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-1-A-23		小規模多機能型居宅介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-1-A-24		認知症対応型共同生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-1-A-25		地域密着型特定施設入居者生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-1-A-26		地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-1-A-27		看護小規模多機能型居宅介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-1-A-28		訪問型サービス(訪問介護相当型)		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-1-A-29		通所型サービス(通所介護相当型)		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-1-A-30	通所型サービス(時間短縮型)		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○		

R4介護保険サービス提供事業者調査 (設置法人・団体のみ：25問)

○ R1から継続
 × 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
 ☆ 新規

● 指標
 ○ 現状分析
 ◎ 両方

設問No.	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問3-2	事業の収支状況 (見通し)	介護保険サービス事業の令和4年度における収支の見通しはどのような状況ですか。現在、札幌市内で提供しているサービス事業全体およびサービス種類別に教えてください ※同一サービス種類で複数の事業所を運営している場合は、それらの平均的な収支状況を教えてください		※表形式		○	
問3-2-0	令和4年度	サービス事業全体		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-2-1		訪問介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-2-2		訪問入浴介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-2-3		訪問看護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-2-4		訪問リハビリテーション		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-2-5		居宅療養管理指導		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-2-6		通所介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-2-7		通所リハビリテーション		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-2-8		短期入所生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-2-9		短期入所療養介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-2-10		特定施設入居者生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-2-11		福祉用具貸与		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-2-12		特定福祉用具販売		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-2-13		居宅介護支援		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-2-14		介護予防支援		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-2-15		介護老人福祉施設		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-2-16		介護老人保健施設		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-2-17		介護療養型医療施設		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-2-18		介護医療院		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-2-19		定期巡回・随時対応型訪問介護看護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-2-20		夜間対応型訪問介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-2-21		地域密着型通所介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-2-22		認知症対応型通所介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-2-23		小規模多機能型居宅介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-2-24		認知症対応型共同生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-2-25		地域密着型特定施設入居者生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-2-26		地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-2-27		看護小規模多機能型居宅介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-2-28		訪問型サービス (訪問介護相当型)		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-2-29		通所型サービス (通所介護相当型)		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○	
問3-2-30	通所型サービス (時間短縮型)		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字		○		

○ R1から継続
 × 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
 ☆ 新規

● 指標
 ○ 現状分析
 ◎ 両方

設問No.	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
4 事業所の運営について							
問4-1	運営の問題点	現在運営している事業所について、運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	介護従事者（ヘルパーなど）の確保が難しい 専門職（看護師、理学療法士など）の確保が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 経営経費・活動資金が不足している 介護報酬が実態にそぐわない 利用者の継続的な確保が難しい その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問4-2	従事者確保が難しい原因	【問4-1で「介護従事者の確保が難しい」の方のみ】 主な原因をどのように考えていますか	複数	仕事に見合わない給与 重労働 不規則勤務がある 職場の人間関係の難しさ その他（具体的に ）		○	
問4-3	介護報酬の過不足	【問4-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 設定されている金額についてどのようにお考えですか		低すぎる やや低い やや高い 高すぎる		○	
問4-4	相談先	【問4-1で「特に問題はない」以外の方のみ】 運営に関する問題点を解決するために、どのようなところに相談していますか	複数	関連法人・事業所 他の介護保険サービス運営法人・事業所 公の経営相談窓口 民間の経営コンサルタント、公認会計士・中小企業診断士などの専門家 その他（具体的に ） 特に相談はしていない		○	
問4-5	人材確保の取組	人材の確保のために、現在どのような取組を行っていますか。また、今後取り組んでいきたいものはありますか	複数	※表形式		○	
問4-5-1	現在の取組内容	現在の取組内容		職員の職場における悩みや問題等を聴取する機会を設ける 事業所内・法人内での情報共有を図り、円滑な意思疎通のできる風通しの良い職場づくりを進める 事業所運営側と職員の考え方の不一致が起こらないよう、法人としての理念・方針を明示し、実際の業務に反映させるよう努める 職員が事業所の運営に参加する機会を設け、職員の当事者意識と職場への愛着を高めるよう努める 職員のキャリアアップのための研修等を充実させる 職員の知識・経験に応じた賃金・業務体系（キャリアパス）を整備する 職員が幅広い視野を持てるよう、地域・他事業所との情報交換や連携した研修実施などを行う 法人内託児所の設置や、育児関係の休暇制度整備など、子どもを持つ職員への子育て支援策を充実させる その他（具体的に ） 職員に対して、給与面の待遇を手厚くする 職員に対して、福利厚生など給与面以外の待遇を手厚くする 短時間での柔軟な勤務など、多様な勤務条件を設定する 介護職未経験者でも働きやすい取組を実施する（就職後も十分な研修の機会を設ける、マンツーマンの指導員を付けるなど） ハローワークや人材派遣会社などが開催する合同就職相談説明会などに積極的に参加する 介護職の養成施設・福祉系学校などに対して、訪問・会社説明などにより、就職希望者を紹介してもらえるよう積極的に働きかけを行う ホームページやSNSなどの活用により事業所の情報を発信する 現場体験の機会を設けるなど、就職希望者に介護の現場を知ってもらう取組を進める 事業所の地域開放や地域行事への参加を通じて、事業所の取組を知ってもらう 介護業界の志望者を増やすため、中学・高校生や就職前の学生など若年層に対する介護事業の啓発・PR活動などに取り組む その他（具体的に ） 特になし		×	
問4-5-1	現在の取組内容	現在の取組内容		職員に対して、給与面の待遇を手厚くする 職員に対して、福利厚生など給与面以外の待遇を手厚くする 短時間での柔軟な勤務など、多様な勤務条件を設定する 介護職未経験者でも働きやすい取組を実施する（就職後も十分な研修の機会を設ける、マンツーマンの指導員を付けるなど） ハローワークや人材派遣会社などが開催する合同就職相談説明会などに積極的に参加する 介護職の養成施設・福祉系学校などに対して、訪問・会社説明などにより、就職希望者を紹介してもらえるよう積極的に働きかけを行う ホームページやSNSなどの活用により事業所の情報を発信する 現場体験の機会を設けるなど、就職希望者に介護の現場を知ってもらう取組を進める 事業所の地域開放や地域行事への参加を通じて、事業所の取組を知ってもらう 介護業界の志望者を増やすため、中学・高校生や就職前の学生など若年層に対する介護事業の啓発・PR活動などに取り組む その他（具体的に ） 特になし		☆	
問4-5-2	今後の取組内容	今後の取組内容		職員に対して、給与面の待遇を手厚くする 職員に対して、福利厚生など給与面以外の待遇を手厚くする 短時間での柔軟な勤務など、多様な勤務条件を設定する 介護職未経験者でも働きやすい取組を実施する（就職後も十分な研修の機会を設ける、マンツーマンの指導員を付けるなど） ハローワークや人材派遣会社などが開催する合同就職相談説明会などに積極的に参加する 介護職の養成施設・福祉系学校などに対して、訪問・会社説明などにより、就職希望者を紹介してもらえるよう積極的に働きかけを行う ホームページやSNSなどの活用により事業所の情報を発信する 現場体験の機会を設けるなど、就職希望者に介護の現場を知ってもらう取組を進める 事業所の地域開放や地域行事への参加を通じて、事業所の取組を知ってもらう 介護業界の志望者を増やすため、中学・高校生や就職前の学生など若年層に対する介護事業の啓発・PR活動などに取り組む その他（具体的に ） 特になし		○	

R4介護保険サービス提供事業者調査 (設置法人・団体のみ：25問)

○ R1から継続
 × 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
 ☆ 新規

● 指標
 ○ 現状分析
 ☆ 両方

設問No.	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問4-6	人材定着化の取組	採用した人材の定着化を図るために、現在どのような取組を行っていますか。また、今後取り組んでいきたいものはありますか	複数	※表形式		○	
問4-6-1	現在の取組内容	現在の取組内容		職員の職場における悩みや問題等を聴取する機会を設ける 事業所内・法人内での情報共有を図り、円滑な意思疎通のできる風通しの良い職場づくりを進める 事業所運営側と職員の考え方の不一致が起こらないよう、法人としての理念・方針を明示し、実際の業務に反映させるよう努める 職員が事業所の運営に参加する機会を設け、職員の当事者意識と職場への愛着を高めるよう努める 職員のキャリアアップのための研修等を充実させる 職員の知識・経験に応じた賃金・業務体系（キャリアパス）を整備する 職員が幅広い視野を持てるよう、地域の他事業所との情報交換や連携した研修実施などを行う 法人内託児所の設置や、育児関係の休暇制度整備など、子どもを持つ職員への子育て支援策を充実させる その他（具体的に ）		×	
問4-6-2	今後の取組内容	今後の取組内容		職員に対して、給与面の待遇を手厚くする 職員に対して、福利厚生など給与面以外の待遇を手厚くする 短時間での柔軟な勤務など、多様な勤務条件を設定する 介護職未経験者でも働きやすい取組を実施する（就職後も十分な研修の機会を設ける、マンツーマンの指導員を付けるなど） ハローワークや人材派遣会社などが開催する合同就職相談説明会などに積極的に参加する 介護職の養成施設・福祉系学校などに対して、訪問・会社説明などにより、就職希望者を紹介してもらえるよう積極的に働きかけを行う ホームページやSNSなどの活用により事業所の情報を発信する 現場体験の機会を設けるなど、週書記希望者に介護の現場を知ってもらい取組を進める 事業所の地域開放や地域行事への参加を通じて、事業所の取組を知ってもらう 介護業界の志望者を増やすため、中学・高校生や就職前の学生など若年層に対する介護事業の啓発・PR活動などに取り組む その他（具体的に ）		×	
問4-6-1	現在の取組内容	現在の取組内容		残業を少なくする・有給休暇を取りやすくする・本人の希望に応じた勤務体制にするなどの労働条件の改善 賃金水準の向上能力や仕事を評価し、賃金などの処遇に反映 職員の仕事内容と必要な能力などを明示 キャリアに応じた給与体系を整備 有期雇用職員から無期雇用職員への転換の機会を設ける 新人の指導担当・アドバイザーを置いている 能力開発の充実（社内研修実施、社外講習等の受講・支援など） 仕事内容の希望を聞いて配置 悩み・不満・不安などの相談窓口を設ける 健康対策や健康管理に力を入れている 職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化（定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等） 経営者・管理者と従業員が経営方針・ケア方針を共有する機会を設けている 業務改善や効率化等による働きやすい職場作り 介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作り 福利厚生を充実 職場環境を整える（休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保など） 子育て支援を行っている（子ども預かり所を設ける、保育費用支援など） その他（具体的に ） 特になし		☆	
問4-6-2	今後の取組内容	今後の取組内容		残業を少なくする・有給休暇を取りやすくする・本人の希望に応じた勤務体制にするなどの労働条件の改善 賃金水準の向上能力や仕事を評価し、賃金などの処遇に反映 職員の仕事内容と必要な能力などを明示 キャリアに応じた給与体系を整備 有期雇用職員から無期雇用職員への転換の機会を設ける 新人の指導担当・アドバイザーを置いている 能力開発の充実（社内研修実施、社外講習等の受講・支援など） 仕事内容の希望を聞いて配置 悩み・不満・不安などの相談窓口を設ける 健康対策や健康管理に力を入れている 職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化（定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等） 経営者・管理者と従業員が経営方針・ケア方針を共有する機会を設けている 業務改善や効率化等による働きやすい職場作り 介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作り 福利厚生を充実 職場環境を整える（休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保など） 子育て支援を行っている（子ども預かり所を設ける、保育費用支援など） その他（具体的に ） 特になし		☆	
問4-7	外国人介護人材の採用	外国人介護人材の採用についてお伺いします。				○	
問4-7-1	外国人介護人材の採用実績	外国人介護人材の採用実績はいかがですか		現在雇用している 過去に雇用していた これまで雇用したことはない		○	
問4-7-2	採用人数など	【問4-7-1で「雇用している（していた）」の方のみ】 採用人数、国籍、従事した介護サービス種類について教えてください。また、在留資格は該当するものも併せて教えてください	記述	採用人数（ ） 国籍（ ） 従事した介護サービスの種類（ ） 在留資格（EPA（経済連携協定） 技能実習 在留資格「介護」 特定技能 その他（具体的に ））		○	
問4-7-3	今後の採用予定	今後の外国人採用の予定とその理由を教えてください		採用したいと考えている 検討中 当面はない (理由：)		○	
問4-7-4	在留資格	【問4-7-3で「当面はない」以外の方のみ】 どのような在留資格で採用を検討していますか	複数	EPA（経済連携協定） 技能実習 在留資格「介護」 特定技能 その他（具体的に ）		○	
問4-7-5	採用に対する不安	外国人介護人材の採用をする場合に不安なことはありますか	複数	利用者や日本人職員とのコミュニケーション 採用コスト、ランニングコスト 外国人材の日本語能力 外国人材の技能レベル 受け入れ体制（指導役の確保、業務外の日常支援等） 文化・生活習慣の違い 受け入れ方法や受け入れ制度への理解不足 その他（具体的に ） 特になし		○	
問4-7-6	採用に関する質問・意見・要望	外国人介護人材の採用に関して、知りたいこと、望むこと、札幌市に対してのご意見・ご要望があれば記入してください	記述			○	
問4-8-1	派遣労働者の受入	貴法人・団体では一般事務以外で派遣労働者を受け入れていますか		受け入れている 受け入れていない	部会意見により新規追加	☆	
問4-8-2	受入人数など	【問4-8-1で「受け入れている」の方のみ】 受け入れている派遣労働者の人数を職種別に教えてください	記述	訪問介護員（ ） 介護職員（ ） 看護職員（ ） 介護報酬請求事務（ ） その他（ ） 人） 派遣労働者合計人数（ ）	部会意見により新規追加	☆	
問4-8-3	派遣料金の割合	直近1年間の介護事業収入に占める人件費の割合（労働保険、社会保険料を含む）と派遣料金の割合をそれぞれ教えてください	記述	人件費の割合（派遣料金を含まない）（ ）% 派遣料金の割合（派遣労働者を受け入れていない場合は0）（ ）%	部会意見により新規追加	☆	

R4介護保険サービス提供事業者調査 (設置法人・団体のみ：25問)

○ R1から継続
 × 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
 ☆ 新規

● 指標
 ○ 現状分析
 ☆ 両方

設問No.	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問4-9	生産性向上・業務の効率化	生産性向上や業務効率化を図るために、現在どのような取組を行っていますか。また、今後取り組んでいきたいものはありますか	複数	※表形式		☆	
問4-9-1	現在の取組内容	現在の取組内容		介護ロボットの活用 (移乗介助・移動支援・排泄支援・入浴支援等に関するもの) 介護ロボットの活用 (見守りコミュニケーション・介護業務支援等に関するもの) 介護記録、ケアプラン作成等にAI・ICT機器(介護ソフトがインストールされたタブレット端末等)の活用 介護助手の活用 その他(具体的に) 特になし	部会意見により選択肢追記	☆	
問4-9-2	今後の取組内容	今後の取組内容		介護ロボットの活用 (移乗介助・移動支援・排泄支援・入浴支援等に関するもの) 介護ロボットの活用 (見守りコミュニケーション・介護業務支援等に関するもの) 介護記録、ケアプラン作成等にAI・ICT機器(介護ソフトがインストールされたタブレット端末等)の活用 介護助手の活用 その他(具体的に) 特になし	部会意見により選択肢追記	☆	
問4-10	人材確保・定着に向けた行政の取組	人材の確保・定着のため、行政に取り組んでほしいことがあればお書きください 【問2で「介護予防支援」を選択した方のみ】	記述			○	
問4-11	ケアプラン上限数 (専門職員)	現在、地域包括支援センター運営方針で示している専門職員のケアプラン担当の上限数や目安について伺います			部会意見により設問追記	☆	
問4-11-1	妥当性	専門職員について、札幌市が設定しているケアプランの上限数や目安についてどのように考えますか		現状の上限数や目安は適切である 上限数や目安を上げる必要がある 上限数や目安を下げる必要がある 上限数や目安を設ける必要はない 特に意見はない わからない	部会意見により設問追記	☆	
問4-11-2	理由	【問4-11-1で「上限数や目安を上げる(下げる)必要がある」「上限数や目安を設ける必要はない」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください	記述			☆	
問4-11-3	妥当な件数	【問4-11-1で「上限数や目安を上げる(下げる)必要がある」の方のみ】 妥当と思われる件数は何件ですか	記述	(件)		☆	
問4-12	ケアプラン上限数 (予防支援担当職員)	【問2で「介護予防支援」を選択した方のみ】 現在、地域包括支援センター運営方針で示している予防支援担当職員のケアプラン担当の上限数や目安について伺います			部会意見により新規追加	☆	
問4-12-1	妥当性	予防支援担当職員について、札幌市が設定しているケアプランの上限数や目安についてどのように考えますか		現状の上限数や目安は適切である 上限数や目安を上げる必要がある 上限数や目安を下げる必要がある 上限数や目安を設ける必要はない 特に意見はない わからない	部会意見により新規追加	☆	
問4-12-2	理由	【問4-12-1で「上限数や目安を上げる(下げる)必要がある」「上限数や目安を設ける必要はない」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください	記述		部会意見により新規追加	☆	
問4-12-3	妥当な件数	【問4-12-1で「上限数や目安を上げる(下げる)必要がある」の方のみ】 妥当と思われる件数は何件ですか	記述	(件)	部会意見により新規追加	☆	
5 今後のサービスについて							
問5-1	事業所の増設・参入予定	現在、札幌市内で提供している介護保険サービスについて、今後、事業所を増やす予定や、新たなサービスに参入する予定はありますか		ある ない		○	
問5-2	増設・参入予定のサービス	【問5-1で「ある」の方のみ】 増設や新規参入を予定しているサービスは何ですか。また、予定している概ねの事業所数、開設予定時期、開設エリアを併せてお答えください		※表形式		○	
問5-2-1	訪問介護	訪問介護		事業所数(所程度) 予定時期(令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 開設エリア(中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-2-2	訪問入浴介護	訪問入浴介護		事業所数(所程度) 予定時期(令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 開設エリア(中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-2-3	訪問看護	訪問看護		事業所数(所程度) 予定時期(令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 開設エリア(中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-2-4	訪問リハビリテーション	訪問リハビリテーション		事業所数(所程度) 予定時期(令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 開設エリア(中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-2-5	居宅療養管理指導	居宅療養管理指導		事業所数(所程度) 予定時期(令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 開設エリア(中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-2-6	通所介護	通所介護		事業所数(所程度) 予定時期(令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 開設エリア(中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-2-7	通所リハビリテーション	通所リハビリテーション		事業所数(所程度) 予定時期(令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 開設エリア(中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	

R4介護保険サービス提供事業者調査 (設置法人・団体のみ：25問)

○ R1から継続
 × 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
 ☆ 新規

● 指標
 ○ 現状分析
 ◎ 両方

設問No.	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問5-2-8	短期入所生活介護	短期入所生活介護		事業所数 () 所程度 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-2-9	短期入所療養介護	短期入所療養介護		事業所数 () 所程度 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-2-10	特定施設入居者生活介護	特定施設入居者生活介護		事業所数 () 所程度 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-2-11	福祉用具貸与	福祉用具貸与		事業所数 () 所程度 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-2-12	特定福祉用具販売	特定福祉用具販売		事業所数 () 所程度 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-2-13	居宅介護支援	居宅介護支援		事業所数 () 所程度 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-2-14	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設		事業所数 () 所程度 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-2-15	介護老人保健施設	介護老人保健施設		事業所数 () 所程度 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-2-16	介護医療院	介護医療院		事業所数 () 所程度 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-2-17	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護		事業所数 () 所程度 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-2-18	夜間対応型訪問介護	夜間対応型訪問介護		事業所数 () 所程度 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-2-19	地域密着型通所介護	地域密着型通所介護		事業所数 () 所程度 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-2-20	認知症対応型通所介護	認知症対応型通所介護		事業所数 () 所程度 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-2-21	小規模多機能型居宅介護	小規模多機能型居宅介護		事業所数 () 所程度 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-2-22	認知症対応型共同生活介護	認知症対応型共同生活介護		事業所数 () 所程度 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-2-23	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型特定施設入居者生活介護		事業所数 () 所程度 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-2-24	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護		事業所数 () 所程度 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-2-25	看護小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護		事業所数 () 所程度 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-2-26	訪問型サービス (訪問介護相当型)	訪問型サービス (訪問介護相当型)		事業所数 () 所程度 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	

R4介護保険サービス提供事業者調査 (設置法人・団体のみ：25問)

○ R1から継続
 × 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
 ☆ 新規

● 指標
 ○ 現状分析
 ◎ 両方

設問No.	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問5-2-27	通所型サービス (通所介護相当型)	通所型サービス (通所介護相当型)		事業所数 () 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-2-28	通所型サービス (時間短縮型)	通所型サービス (時間短縮型)		事業所数 () 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-3	総合事業の基準緩和	札幌市が、新総合事業において訪問型サービス・通所型サービスの基準緩和を導入するとした場合に、現行の基準の中で、緩和を望むのはどの項目ですか	複数	※表形式		○	
問5-3-1	訪問型サービス	人員基準		管理者 (訪問) の配置 訪問介護員の配置 サービス提供責任者の配置 その他 (具体的に)		○	
問5-3-2	通所型サービス	人員基準		管理者 (通所) の配置 生活相談員の配置 看護職員の配置 介護職員の配置 機能訓練指導員の配置 その他 (具体的に)		○	
		施設基準		食堂及び機能訓練室の設置 静養室の設置 相談室の設置 事務室の設置 その他 (具体的に)		○	
問5-4	事業所の削減予定	現在、札幌市内で提供している介護保険サービスについて、今後、事業所の数を削減する予定はありますか		ある ない		○	
問5-5	削減理由	【問5-4で「ある」の方のみ】 削減する理由は何ですか	複数	必要な従業員を確保できない 採算が合わない 事業所の譲渡 他のサービス種類への変更 その他 (具体的に)		○	
問5-6	削減予定のサービス	【問5-4で「ある」の方のみ】 削減を予定しているサービスは何ですか。また、予定している概ねの事業所数、削減予定時期、削減するエリアを併せてお答えください ※訪問介護事業所、通所介護事業所を削除する予定はないが、総合事業のみを廃止する場合は、「27.」「28.」「29.」にご記入ください		※表形式		○	
問5-6-1	訪問介護	訪問介護		事業所数 () 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 削減エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-6-2	訪問入浴介護	訪問入浴介護		事業所数 () 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 削減エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-6-3	訪問看護	訪問看護		事業所数 () 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 削減エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-6-4	訪問リハビリテーション	訪問リハビリテーション		事業所数 () 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 削減エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-6-5	居宅療養管理指導	居宅療養管理指導		事業所数 () 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 削減エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-6-6	通所介護	通所介護		事業所数 () 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 削減エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-6-7	通所リハビリテーション	通所リハビリテーション		事業所数 () 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 削減エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-6-8	短期入所生活介護	短期入所生活介護		事業所数 () 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 削減エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-6-9	短期入所療養介護	短期入所療養介護		事業所数 () 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 削減エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-6-10	特定施設入居者生活介護	特定施設入居者生活介護		事業所数 () 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 削減エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-6-11	福祉用具貸与	福祉用具貸与		事業所数 () 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 削減エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-6-12	特定福祉用具販売	特定福祉用具販売		事業所数 () 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 削減エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	

R4介護保険サービス提供事業者調査 (設置法人・団体のみ：25問)

○ R1から継続
 × 廃止 (R1からの修正項目は新規に計上)
 ☆ 新規

● 指標
 ○ 現状分析
 ◎ 両方

設問No.	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問5-6-13	居宅介護支援	居宅介護支援		事業所数 (〇 所程度) 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 削減エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-6-14	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設		事業所数 (〇 所程度) 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 削減エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-6-15	介護老人保健施設	介護老人保健施設		事業所数 (〇 所程度) 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 削減エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-6-16	介護医療院	介護医療院		事業所数 (〇 所程度) 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 削減エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-6-17	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護		事業所数 (〇 所程度) 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 削減エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-6-18	夜間対応型訪問介護	夜間対応型訪問介護		事業所数 (〇 所程度) 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 削減エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-6-19	地域密着型通所介護	地域密着型通所介護		事業所数 (〇 所程度) 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 削減エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-6-20	認知症対応型通所介護	認知症対応型通所介護		事業所数 (〇 所程度) 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 削減エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-6-21	小規模多機能型居宅介護	小規模多機能型居宅介護		事業所数 (〇 所程度) 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 削減エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-6-22	認知症対応型共同生活介護	認知症対応型共同生活介護		事業所数 (〇 所程度) 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 削減エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-6-23	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型特定施設入居者生活介護		事業所数 (〇 所程度) 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 削減エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-6-24	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護		事業所数 (〇 所程度) 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 削減エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-6-25	看護小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護		事業所数 (〇 所程度) 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 削減エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-6-26	訪問型サービス (訪問介護相当型)	訪問型サービス (訪問介護相当型)		事業所数 (〇 所程度) 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 削減エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-6-27	通所型サービス (通所介護相当型)	通所型サービス (通所介護相当型)		事業所数 (〇 所程度) 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 削減エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
問5-6-28	通所型サービス (時間短縮型)	通所型サービス (時間短縮型)		事業所数 (〇 所程度) 予定時期 (令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度以降) 削減エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)		○	
6 自由記載							
問6	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	